

(2)植物相の状況

調査区域及びその周辺を含む地域に生育記録のある維管束植物は、193科 2,506種、蘚苔類は7科 11種です。水田に見られるミズオオバコ等、草地や林縁に生育するヤブカンゾウ、ダイサギソウ等、湿地に生育するミズトンボ、コガマ、ヒロハノイヌノヒゲ等の生育記録があります。

(3)重要な植物種及び群落の状況

重要な植物種

重要な植物の選定基準は、表 4.1.5-12 に示すとおりです。

調査区域及びその周辺の重要な種の状況は表 4.1.5-13～表 4.1.5-14 に、そのうち既存資料で位置が確認できた重要な植物種は表 4.1.5-15 に、位置は図 4.1.5-5 に示すとおりです。

調査区域では、重要な種として、維管束植物ではエビガラシダ、ササバモ、サンカクイ、ミヤマコナスビ等の 108科 455種、蘚苔類ではホンモンジゴケ、ヒメタチヒラゴケ等の 3科 6種の生育が確認されています。

表 4.1.5-12 重要な植物種の選定基準

分類	法律及び文献	選定基準及びランク
植物種	「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号) 「大分県文化財保護条例」(昭和 30 年大分県条例第 12 号) 「大分市文化財保護条例」(昭和 51 年条例第 3 号) 「豊後大野市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 126 号) 「臼杵市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 208 号)	特天：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年法律第 75 号)	国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種 第一種：特定第一種国内希少野生動植物種 第二種：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種
	「大分県希少野生動植物の保護に関する条例」(平成 18 年 3 月大分県条例第 14 号)	指定：指定希少野生動植物種
	「第 5 次レッドリスト(植物・菌類)の公表について」(令和 7 年 3 月、環境省)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域 個体群
	「レッドデータブックおおいた 2022～大分県の絶滅のおそれのある野生生物～」(令和 4 年 3 月、大分県)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域 個体群

表 4.1.5-13(1) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
1	イワヒバ	イヌカタヒバ	16,51				VU	
2	ハナヤスリ	アカハナワラビ	51					NT
3		コヒロハハナヤスリ	13,16,51					DD
4		ヒロハハナヤスリ	13,16,51					NT
5	マツバラシ	マツバラシ	15,16,28,29,51,52				NT	
6	ゼンマイ	シロヤマゼンマイ	13,51					CR
7	デンジソウ	デンジソウ	13,16,51				NT	EX
8	サンショウモ	オオアカウキクサ	13				EN	DD
9		アカウキクサ	13,51				EN	DD
10		サンショウモ	13,16,51				NT	CR
11	ホングウシダ	ハマホラシノブ	16					CR
12	イノモトソウ	ホウライクジャク	16		指定		EN	CR
13		オトメクジャク	13,16,51		指定		EN	EN
14		ヒメミズワラビ	13					VU
15		ヒメウラジロ	16,29,51				NT	
16		エビガラシダ	13,16,28,51				VU	VU
17		ハチジョウシダ	16,28					CR
18		キドイノモトソウ	51				VU	VU
19		チャセンシダ	シモツケヌリトラノオ	51				
20	クモノスシダ		16					NT
21	トキワシダ		16					VU
22	ヒメシダ	テツホシダ	13,51					CR
23	イワデンダ	コガネシダ	13,16,51					EN
24	シシガシラ	オサシダ	13					NT
25	メシダ	アソシケシダ	13,16,51				EN	CR
26		フモトシケシダ	16,51					NT
27		オオバミヤマノコギリシダ	13,51					CR
28		コクモウクジャク	13,16,51					NT
29	オシダ	イズヤブソテツ	13					CR
30		メヤブソテツ	13,16,51					NT
31		ツクシヤブソテツ	51					EN
32		ナチクジャク	13,16,51					NT
33		サクライカグマ	13,16,51					DD
34		ニセヨゴレイタチシダ	13,16,51				NT	NT
35		ヌカイタチシダモドキ	13					VU
36		ワカナシダ	16,51					EN
37		ツルデンダ	13,16,51					NT
38		アイアスカイノデ	16,51					NT
39	ウラボシ	ヤノネシダ	13,16,51					NT
40		コウラボシ	16,51					VU
41		イシガキウラボシ	13					DD
42		イワヤナギシダ	13,16,51					NT
43		カラクサシダ	13,16					NT
44	イチイ	イチイ	13,16,51					VU
45	ジュンサイ	ジュンサイ	13,16,51					EN
46	スイレン	オニバス	13,51				VU	EN
47		コウホネ	13,51					NT
48	ドクダミ	ハンゲショウ	13,15,16,51					NT
49	ウマノスズクサ	タイリンアオイ	13,16,51					NT
50		ミヤコアオイ	13,16,51					NT
51		フタバアオイ	13,16,51					NT
52		クロフネサイシン	13,16,51				NT	VU
53		サンヨウアオイ	13,16,51					NT
54	クスノキ	ニッケイ	31				NT	
55	サトイモ	マイヅルテンナンショウ	13,16,51				NT	VU
56		ナンゴクウラシマソウ	13,16,28,51					NT
57		アオテンナンショウ	16					EN

表 4.1.5-13(2) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
58	オモダカ	マルバオモダカ	51				VU	DD
59		アギナシ	13,16,51				NT	VU
60	トチカガミ	ヤナギスブタ	13,51					NT
61		ヤマトウミヒルモ	13					EN
62		ウミヒルモ	51				NT	
63		トチカガミ	13,16,51				NT	DD
64		ヒロハトリゲモ	51				NT	DD
65		イトトリゲモ	13,51				NT	EN
66		ホッサモ	13,51					VU
67		ミズオオバコ	13,16,51				NT	EN
68		セキショウモ	16					VU
69		シバナ	シバナ	13,15,16,33,51				NT
70	アマモ	コアマモ	13,16,51					VU
71		アマモ	11,13,31,51					NT
72	ヒルムシロ	イトモ	16,44,51				NT	VU
73		フトヒルムシロ	13,16,51					NT
74		オヒルムシロ	13,16,51					EN
75		ミズヒキモ	13,51					VU
76		ササバモ	13,16,33,51					EN
77		リュウノヒゲモ	13,51				NT	DD
78		イトクズモ	13,16,51				VU	EN
79		ヒナノシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ	16,51				
80	キリシマシャクジョウ		13,16,51				VU	VU
81	シュロソウ	ミヤマエンレイソウ	13,16,51					VU
82	イヌサフラン	キバナチゴユリ	13,16,51					VU
83	サルトリイバラ	マルバサンキライ	16					VU
84	ユリ	ホソバナコバイモ	13,16,51				NT	VU
85		キバナノアマナ	51					CR
86		ノヒメユリ	16				VU	CR
87		ヒメユリ	16,51			指定	EN	CR
88		ホソバナノアマナ	16,51					EN
89		ホトトギス	16					EN
90		ラン	ヒナラン	16,51				VU
91	シラン		13,16,28,31,51,52				NT	NT
92	マメツタラン		16				NT	VU
93	ムギラン		16,51				NT	VU
94	ミヤマムギラン		51				NT	EN
95	キエビネ		13,16,51				VU	CR
96	エビネ		13,16,51				NT	VU
97	ギンラン		13,16,51					NT
98	キンラン		13,16,51				NT	VU
99	ユウシュンラン		16				NT	EN
100	マヤラン		16,51				VU	VU
101	ナギラン		13,16,51				VU	EN
102	クマガイソウ		13,16,51			指定	VU	CR
103	セッコク		16,51			指定		VU
104	カキラン	16,51					NT	
105	タシロラン	13,16,31,51				NT	VU	
106	カシノキラン	16,51				VU	EN	
107	マツラン	16				VU	VU	
108	アキザキヤツシロラン	13,16,51					EN	
109	オニノヤガラ	13,16,51					VU	
110	ハルザキヤツシロラン	13,16				VU	CR	
111	クロヤツシロラン	13,15,16,33,51					VU	
112	ベニシュスラン	16					EN	

表 4.1.5-13(3) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
113	ラン	アケボノシュスラン	13,16					EN	
114		シュスラン	16,51					VU	
115		ダイサギソウ	13,16,51				EN	EN	
116		ミズトンボ	13,16,51				NT	VU	
117		ヒメノヤガラ	16				VU	VU	
118		ムヨウラン	13,16,51					EN	
119		セイタカスズムシソウ	13,16					EN	
120		ジガバチソウ	16					VU	
121		フウラン	16			指定	NT	EN	
122		ムカゴサイシン	16				NT	DD	
123		ヨウラクラン	16					EN	
124		コケイラン	16					NT	
125		ムカデラン	13,16,51				VU	EN	
126		ツレサギソウ	13,16,51					VU	
127		ヤマサギソウ	16,51					VU	
128		トキソウ	16,51			指定	NT	EN	
129		ヤマトキソウ	16,51					EN	
130		ウチヨウラン	16,51			指定	NT	CR	
131		ナゴラン	16			指定	EN	CR	
132		クモラン	16,51					VU	
133		カヤラン	13,16,51					NT	
134		キバナノショウキラン	16,51				EN	EN	
135		アヤメ	ノハナショウブ	13,16,51					NT
136			エヒメアヤメ	13,51			指定	VU	EN
137	ススキノキ	ユウスゲ	16,51					VU	
138		ハマカンゾウ	16					NT	
139		ベニカンゾウ	13,16,51					EN	
140	クサスギカズラ	オニツルボ	16					NT	
141		ケイビラン	13,16					NT	
142		カンザシギボウシ	13,16,51					CR	
143		ヒュウガギボウシ	16					NT	
144		ヒメヤブラン	16					VU	
145		ミドリヨウラク	13,16,51					VU	
146		ワニグチソウ	13,16,51					VU	
147	ヤシ	ビロウ	16					VU	
148	ミズアオイ	ミズアオイ	16				NT	DD	
149	ガマ	ヤマトミクリ	13,16				NT	VU	
150		ヒメミクリ	13,16,51				VU	VU	
151	ホシクサ	ツクシクロイヌノヒゲ	16,51					VU	
152		イヌノヒゲ	16,51					VU	
153	イグサ	ヒメコウガイゼキショウ	11,16,51					VU	
154	カヤツリグサ	ウキヤガラ	11,16,32,51					NT	
155		イトテンツキ	13,16				NT	VU	
156		オオナキリスゲ	13,16					CR	
157		ケタガネソウ	13,51					VU	
158		オニスゲ	11,16,31,51					EN	
159		コハリスゲ	16					NT	
160		ウマスゲ	51					VU	
161		コウボウムギ	11,13,16,51					NT	
162		クジュウツリスゲ	16,51				NT	EN	
163		チュウゼンジスゲ	13,16,51					VU	
164		コジュズスゲ	16					NT	
165		キノクニスゲ	16				NT	VU	
166		フサスゲ	13,51					CR	
167		サワヒメスゲ	16,28					EN	
168		キシウナキリスゲ	16,51				VU	EN	
169		ミヤマイワスゲ	16				VU	VU	
170		ヤチカワズスゲ	16,51					VU	

表 4.1.5-13(4) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
171	カヤツリグサ	タカネマスキサ	16					EN
172		ジングウスゲ	13, 16				NT	EN
173		アブラシバ	16, 51					VU
174		センダイスゲ	16					VU
175		ツクシナルコ	16				EN	VU
176		アゼスゲ	11, 13, 16, 51					NT
177		ツクシスゲ	16					EN
178		ツクシオオガヤツリ	13, 16, 32, 51				VU	EN
179		ツクシテンツキ	13, 16				VU	VU
180		ナガボテンツキ	13, 51					VU
181		ノハラテンツキ	16				VU	DD
182		ピロードテンツキ	13, 16, 51					NT
183		トラノハナヒゲ	51					CR
184		サンカクイ	11, 13, 15, 16, 31, 33, 34, 35, 51					VU
185		コマツカサススキ	13, 16, 51					VU
186		シンジュガヤ	51					NT
187		コシンジュガヤ	51					NT
188		イネ	ホガエリガヤ	16, 51				
189	キリシマノガリヤス		16, 51				CR	
190	ホッサガヤ		16, 51					DD
191	ヒナザサ		16, 51				NT	VU
192	ヒロハノドジョウツナギ		16					VU
193	ハイチゴザサ		16, 51					VU
194	ケカモノハシ		11, 13, 16, 51					VU
195	カモノハシ		13, 16, 51					VU
196	ミチシバ		13, 16, 51					CR
197	ムカゴツツリ		13, 16, 51					VU
198	チシマカニツリ		16					VU
199	ケシ	ナガミノツルケマン	13, 16, 31, 33, 51				NT	NT
200		ヤマブキソウ	16, 51					EN
201	ツツラフジ	ミヤコジマツツラフジ	16					EN
202	メギ	ルイヨウボタン	16, 51					VU
203		イカリソウ(広義)	16, 51					EN
204		シオミイカリソウ	13				NT	NT
205	キンボウゲ	コウライブシ	16, 51		国内		CR	DD
206		タンナトリカブト	13, 16, 51					NT
207		レイジンソウ	16, 51					NT
208		ルイヨウショウマ	13, 16, 51					VU
209		ミチノクフクジュソウ	13, 16			指定	NT	CR
210		ニリンソウ	16, 51					NT
211		ユキワリイチゲ	13, 16, 29, 51					VU
212		イチリンソウ	16, 29, 51					NT
213		アズマイチゲ	16			指定		CR
214		ヤマオダマキ	16, 51					EN
215		カザグルマ	13, 16, 51				NT	EN
216		オオクサボタン	16, 18					VU
217		シロバナハンショウヅル	16					EN
218		トウゴクサバノオ	16, 51					CR
219	オキナグサ	13, 16, 29, 51			指定	NT	EN	
220	ノカラマツ	16, 51					VU	EN
221	アワブキ	アオカズラ	16				EN	EN
222	ボタン	ヤマシャクヤク	16, 51			指定	NT	EN
223		ベニバナヤマシャクヤク	16, 51			指定	VU	EN
224	マンサク	マンサク	16, 51					NT
225	スグリ	ヤシャビシャク	16				NT	VU
226		ヤブサンザシ	16					EN
227	ユキノシタ	アワモリショウマ	16, 18, 29, 51					NT

表 4.1.5-13(5) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
228	ユキノシタ	ネコノメソウ	16,51					EN
229		オオコガネネコノメソウ	16					CR
230		ツクシネコノメソウ	13,16,51					NT
231		ツクシチャルメルソウ	16				NT	VU
232		ワタナベソウ	13,16,51			指定	VU	VU
233	ベンケイソウ	アオベンケイ	16					NT
234		ツメレンゲ	13,16,33,51				NT	NT
235	タコノアシ	タコノアシ	13,15,16,31,32,33,34,44,51				NT	EN
236	アリノトウグサ	フサモ	16,51					VU
237	マメ	タヌキマメ	13,16,51					NT
238		サイカチ	13,16,51					VU
239		レンリソウ	16,51					CR
240		クロバナキハギ	16,51				VU	
241		イヌハギ	13,16,33,51				NT	VU
242		ハカマカズラ	16					EN
243		シバナム	16,51				DD	NT
244		オオバクサフジ	13,16,28,51					EN
245		ヒメハギ	ヒナノカンザシ	13,51				
246	グミ	クマヤマグミ	13,16,51				VU	VU
247	クロウメモドキ	イソノキ	13,16,51					EN
248		ハマナツメ	13				NT	CR
249	イラクサ	タイワントリアシ	16				NT	DD
250		チョクザキミズ	16,51			指定	EN	CR
251		コケミズ	16,51					EN
252	バラ	チョウセンキンミズヒキ	16,51				VU	EN
253		ザイフリボク	16,51					NT
254		カスミザクラ	16,51					VU
255		クサボケ	13,16,51					NT
256		シモツケソウ	13,16,51					NT
257		カワラサイコ	11,13,15,16,33,51					EN
258		ミツモトソウ	16,28,51					NT
259		ツチグリ	13,16,51				VU	EN
260		クロイチゴ	16,51					VU
261		コジキイチゴ	13,16,51					NT
262		ブナ	ハナガガシ	13,16,51				VU
263	カバノキ	ハンノキ	16,51					VU
264	ニシキギ	サワダツ	16,51					NT
265		シラヒゲソウ	16,51					VU
266		ウメバチソウ	13,16,51					NT
267	トウダイグサ	ノウルシ	16				NT	VU
268		イワタイゲキ	16					NT
269	ヤナギ	イヌコリヤナギ	16,32,51					VU
270		ノヤナギ	13,16,51					NT
271	スマレ	サクラスマレ	16,51					VU
272		キスマレ	13,16,51					VU
273		ホソバシロスミレ	16				VU	VU
274		ヒカゲスマレ	16					VU
275	アマ	マツバニンジン	13,51				CR	DD
276	オトギリソウ	トモエソウ	16,51					EN
277		コウライトモエソウ	16,51				EN	EN
278		アゼオトギリ	16				EN	DD
279	フウロソウ	タチフウロ	13,16,51					EN
280		イヨフウロ	16,51				NT	NT
281	ミソハギ	ミズマツバ	13,16,31,33,51				NT	VU
282		ミズキカシグサ	13,16,31,51				NT	VU
283		ヒメビシ	51				VU	EN

表 4.1.5-13(6) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
284	アカバナ	ウシタキソウ	13,16,51					VU
285		イワアカバナ	13,16,51					EN
286	ノボタン	ヒメノボタン	13,16				NT	DD
287	キブシ	ハチジョウキブシ	16,51					VU
288	ムクロジ	メグスリノキ	16,51					NT
289		ヒナウチワカエデ	16					NT
290	アオイ	ハマボウ	13,15,16,17,31,33,34,35,51					VU
291		ツクシボダイジュ	16				EN	CR
292	ジンチョウゲ	オニシバリ	13,16,51					NT
293		キガンピ	16					EN
294		シマサクラガンピ	16,51					NT
295	アブラナ	シコクハタザオ	51					EN
296		ユリワサビ	13,16,51					VU
297	ツチトリモチ	ツチトリモチ	16					VU
298	オオバヤドリギ	マツグミ	16,51					VU
299		オオバヤドリギ	13,16,51					NT
300	イソマツ	ハマサジ	13,15,16,17,31,32,33,34,35,51				NT	VU
301	タデ	ヒメタデ	13				DD	VU
302		サイコクヌカボ	13,51				NT	DD
303		ヤナギヌカボ	16				NT	VU
304		ナガバノウナギツカミ	16				NT	
305		サデクサ	13					VU
306		ヌカボタデ	16				VU	VU
307		コギシギシ	13,16,31,32,34,35,44,51				NT	VU
308	モウセンゴケ	モウセンゴケ	13,16,51					NT
309	ナデシコ	ヒメハマナデシコ	16					VU
310		ワダソウ	13,16,51					VU
311		フシグロセンノウ	13,16,51					NT
312		ナガバノサワハコベ	13,16,51					VU
313	ヒユ	ヤナギイノコツチ	16,51					VU
314		イソホウキギ	11,13,15,16,31,33,34,51					NT
315		シチメンソウ	13,16,51				VU	DD
316		ヒロハマツナ	13,51				VU	CR
317		ハママツナ	11,13,15,16,31,33,34,35,51					NT
318	アジサイ	ギンバイソウ	13,16,51					VU
319		ブンゴウツギ	16,51				VU	
320		ヤハズアジサイ	16					VU
321	ツリフネソウ	ハガクレツリフネ	16,51					NT
322	サクラソウ	ヌマトラノオ	13,51					VU
323		モロコシソウ	16					NT
324		ミヤマコナスビ	13,16,18,28,29,51,52					NT
325		サクラソウ	16,51				指定	NT EN
326	イワウメ	イワカガミ	51					NT
327	エゴノキ	ハクウンボク	13,16,51					NT
328	ツツジ	ウメガサソウ	13,16,51					VU
329		ヒュウガミツバツツジ	16					VU
330		ツクシシャクナゲ	16,51					NT
331		ヒカゲツツジ	16					NT
332		ミヤマキリシマ	16,51					NT
333		ゲンカイツツジ	16				NT	
334		カラムラサキツツジ	13,16,51					NT
335	アカネ	ミサオノキ	16					NT
336		ナガバジュズネノキ	51					EN
337		ルリミノキ	13,16,51					NT
338		サツマルリミノキ	13,16					NT
339		ヘツカニガキ	13,16,51					NT

表 4.1.5-13(7) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
340	リンドウ	アケボノソウ	16,51					NT
341		センブリ	13,16,51					NT
342		ムラサキセンブリ	13,16,29,51				NT	VU
343		シノノメソウ	16,51					VU
344		イヌセンブリ	13,16,51				NT	VU
345	キョウチクトウ	ロクオンソウ	13,16,29,31,33,51					VU
346		フナバラソウ	13,16,51				NT	NT
347		タチカモメヅル	16,51					VU
348		イヨカズラ	13,16,51					NT
349		スズサイコ	13,16,44,51				NT	NT
350	ヒルガオ	マメダオシ	13,16,51				EN	DD
351		ハマネナシカズラ	16				EN	DD
352		ゲンバイヒルガオ	13,51					CR
353	ナス	ヤマホオズキ	16,51				VU	EN
354		アオホオズキ	51				VU	VU
355	ムラサキ	ホタルカズラ	13,16,51					VU
356		スナビキソウ	16					EN
357		ムラサキ	13,16,51				EN	DD
358	オオバコ	マルバノサワトウガラシ	13,16,51				NT	DD
359		キクモ	13,16,51					VU
360		トウオオバコ	13,16					VU
361		ホソバヒメトラノオ	13,16				EN	DD
362		イヌノフグリ	13,16,44,51				NT	EN
363		ヤマトラノオ	16,51					VU
364		カワヂシャ	13,16,28,31,32,34,35,51				NT	NT
365		ツクシクガイソウ	16,51				VU	CR
366		ゴマノハグサ	13,16,44,51				NT	VU
367	シソ	カイジンドウ	13,16,51				VU	EN
368		タニジャコウソウ	13,16,51				NT	VU
369		キセワタ	13,16,44,51				VU	EN
370		マネキグサ	51				NT	DD
371		シロネ	13,16,51					VU
372		ヒメハッカ	16				NT	
373		ヤマジソ	16,51				NT	VU
374		スズコウジュ	16					NT
375		ミズネコノオ	13				NT	EN
376		キバナアキギリ	13,16,51					NT
377		ミゾコウジュ	13,16,28,31,32,33,34,35,51				NT	NT
378		コナミキ	13,51				VU	VU
379		ケミヤマナミキ	13,16,51				EN	CR
380		ナミキソウ	13,16,51					EN
381	ハエドクソウ	スズメノハコベ	13,51				NT	EN
382	ハマウツボ	ゴマクサ	13,51				NT	EN
383		キュウシュウコゴメグサ	16,51					EN
384		ツクシコゴメグサ	13,16,51				EN	VU
385		ハマウツボ	13,16,51				VU	DD
386		ツクシシオガマ	13,16,51					VU
387		シオガマギク	13,16,51					NT
388		キヨスミウツボ	13,16,51					VU
389		タヌキモ	イヌタヌキモ	13				NT
390	ミミカキグサ		16,51					NT
391	タヌキモ		16				NT	
392	キキョウ	ソバナ	13,16,51					NT
393		シデシャジン	13,16,51					VU
394		ヤツシロソウ	16				指定	EN

表 4.1.5-13(8) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
395	キキョウ	ツルギキョウ	13,16,51				VU	VU
396		バアソブ	13,16,51				VU	VU
397		キキョウ	13,16,51				NT	EN
398	キク	アソノコギリソウ	13,16,51,52				NT	NT
399		モミジハグマ	13,16,51					VU
400		ケショウヨモギ	16,51					NT
401		フクド	13,16,31,32,33,34,35,44,51				NT	NT
402		イワヨモギ	16,51					VU
403		ヤブヨモギ	13,16,51					VU
404		ヒロハヤマヨモギ	13,16,51				NT	NT
405		シオン	13,16,51					VU
406		オケラ	13,16,51					VU
407		コバナガンクピソウ	13,16,51					VU
408		ミヤマヤブタバコ	16					VU
409		アシズリノジギク	16,51					NT
410		モリアザミ	16					VU
411		ウラユキヤナギアザミ	16,51					VU
412		イヨアブラギク	13,16,51					EN
413		ニッポウアザミ	16,51				CR	EN
414		クサヤツデ	13,16,51					NT
415		ヒゴタイ	13,16,51			指定		VU
416		イズハハコ	13,16,44,51					NT
417		フジバカマ	16,51					NT
418		チョウセンスイラン	13,16,51					NT
419		ホソバオグルマ	13,16,28,51					VU
420		カセンソウ	16,51					VU
421		ホソバニガナ	13,51					EN
422		タカサゴソウ	13,16,51					VU
423		チョウセンヤマニガナ	16,51					VU
424		ネコノシタ	11,13,16,51					EN
425		オオモミジガサ	16					NT
426		テバコモミジガサ	13,16,51					NT
427		ツクシカシワバハグマ	16,51					VU
428		アキノハハコグサ	13,16,51					EN
429		ヒナヒゴタイ	13,51			国内		VU
430		ミヤコアザミ	16,51					VU
431	オオダイトウヒレン	13,16					NT	
432	ヒメヒゴタイ	16					VU	
433	キクアザミ	13,16,51					VU	
434	ハバヤマボクチ	16,51					NT	
435	キクバヤマボクチ	16,51					VU	
436	ツクシタンポポ	16,51					VU	
437	ウラギク	13,16,51					NT	
438	オナモミ	16,44,51					VU	
439	セリ	シラハノダケ	13,16,51					EN
440		ヒュウガトウキ	16					VU
441		ツクシゼリ	13,16					NT
442		ミシマサイコ	13,16,44,51					VU
443		ドクゼリ	11,16					DD
444		ミツバグサ	13,16,51					VU
445		ツクシボウフウ	13,16,51					EN
446		シムラニンジン	16,51					VU
447		カノツメソウ	16,51					EN
448	ガマズミ	レンブクソウ	16					CR
449		ハクサンボク	51					NT
450	スイカズラ	ツクバネウツギ	16					VU

表 4.1.5-13(9) 重要な植物種 (植物種・維管束植物)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
451	スイカズラ	ナベナ	13,16,51					VU
452		ウスバヒョウタンボク	16				VU	EN
453		ヤマヒョウタンボク	16					EN
454		オミナエシ	13,16,18,51					NT
455		マツムシソウ	13,16,51					NT
合計 108科 455種				0種	2種	20種	186種	440種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-12 に対応

出典: 11)「河川水辺の国勢調査 河川環境データベース」(令和7年12月現在、国土交通省)

13)「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

15)「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16)「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

17)「大分市環境基本計画(第四次)」(令和7年3月、大分市)

18)「生物多様性ぶんごおおの戦略」(平成29年6月、豊後大野市)

28)「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

29)「豊後大野市自然図鑑」(平成25年3月、豊後大野市自然史友の会)

31)「平成26年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務報告書」(平成27年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

32)「平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務報告書」(平成31年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

33)「平成31年度大野川水辺現地調査(魚類調査等)業務報告書」(令和2年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

34)「令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務報告書」(令和3年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

35)「令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務報告書」(令和5年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

44)「絶滅危惧種分布情報公開ページ」(令和7年12月現在、環境省)

51)「APG 分類体系による 大分の維管束植物標本資料一覧」(平成28年12月、(財)日本自然保護協会)

52)「新版 大分県植物誌」(平成元年8月、大分市植物誌刊行会)

表 4.1.5-14 重要な植物種 (植物種・蘚苔類)

番号	綱名	科名	種名	出典	選定基準				
1	蘚	センボンゴケ	ホンモンジゴケ	13					EN
2			コモチネジレゴケ	13					CR
3		イトヒバゴケ	ツルゴケ	13					DD
4		ヒラゴケ	セイナンヒラゴケ	19					CR
5			ヒメタチヒラゴケ	19				NT	DD
6			キブリハネゴケ	19				NT	CR
合計 3科6種					0種	0種	0種	2種	6種

注1) 種名及び分類は、原則として「日本の野生植物 コケ」(平成13年、平凡社)に準じました。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-12 に対応

出典: 13)「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

19)「大分自然博物誌 プンゴエンシス 第2巻」(平成29年4月、大分自然環境研究発表会)

表 4.1.5-15 既存資料で位置が確認できた重要な植物種

分類	番号	種名	位置番号	出典	選定基準					
植物	1	マツバラン	10, 12	28					NT	
			18	15						
	2	エビガラシダ	11	28					VU	VU
	3	ハチジョウシダ	5	28						CR
	4	ハンゲショウ	20	15						NT
	5	ナンゴクウラシマソウ	13	28						NT
	6	シバナ	24	15					NT	EN
	7	シラン	1, 6	28					NT	NT
	8	クロヤツシロラン	23	15						VU
	9	サワヒメスゲ	15	28						EN
	10	サンカクイ	21	15						VU
	11	タコノアシ	19	15					NT	EN
	12	オオバクサフジ	8	28						EN
	13	カワラサイコ	25	15						EN
	14	ミツモトソウ	7	28						NT
	15	ハマボウ	26	15						VU
	16	ハマサジ	22, 27	15					NT	VU
	17	ハママツナ	28	15						NT
	18	ミヤマコナスビ	2, 14	28						NT
	19	カワヂシャ	17	28					NT	NT
	20	ミゾコウジュ	3, 9, 16	28					NT	NT
	21	フクド	29	15					NT	NT
22	ホンバオグルマ	4	28					VU	VU	

注1) 表中の位置番号は図 4.1.5-5 に対応

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-12 に対応

出典: 15) 「大分市自然環境調査報告書」(平成 19 年 2 月、大分市)

28) 「豊後大野市の自然 第 2 回会誌 合同調査報告書」(令和 2 年 12 月、豊後大野市自然史友の会)

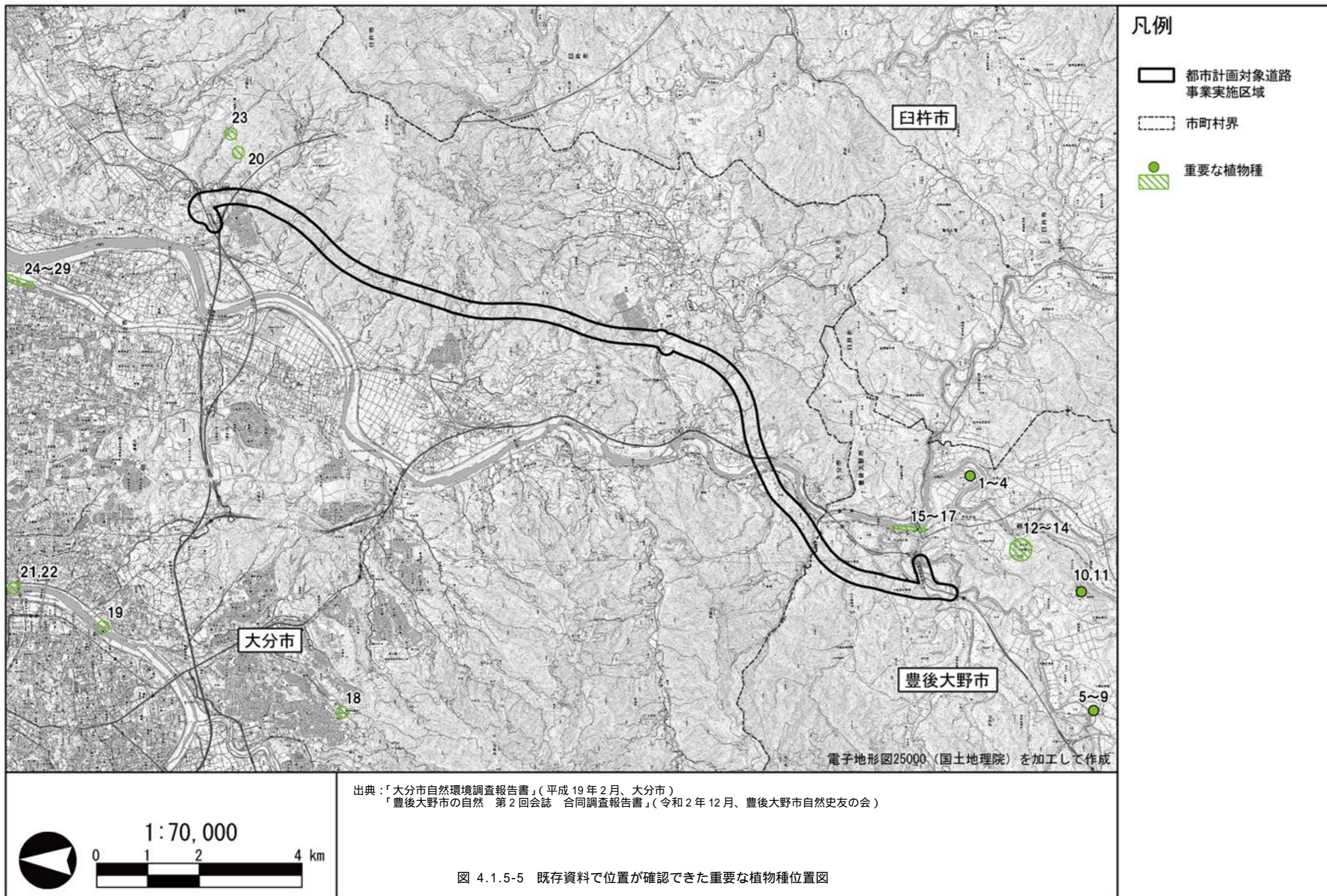


図 4.1.5-5 既存資料で位置が確認できた重要な植物種位置図

### 重要な植物群落

重要な植物群落の選定にあたっては表 4.1.5-16 に示す法律及び文献を使用しました。

調査区域には、重要な植物群落として、「深田付近のコジイ林」、「河岸断がいのアラカシ林」があります。重要な植物群落の状況は表 4.1.5-17 に、位置は図 4.1.5-6 に示すとおりです。

なお、法律及び条令により天然記念物に指定された植物群落はありません。

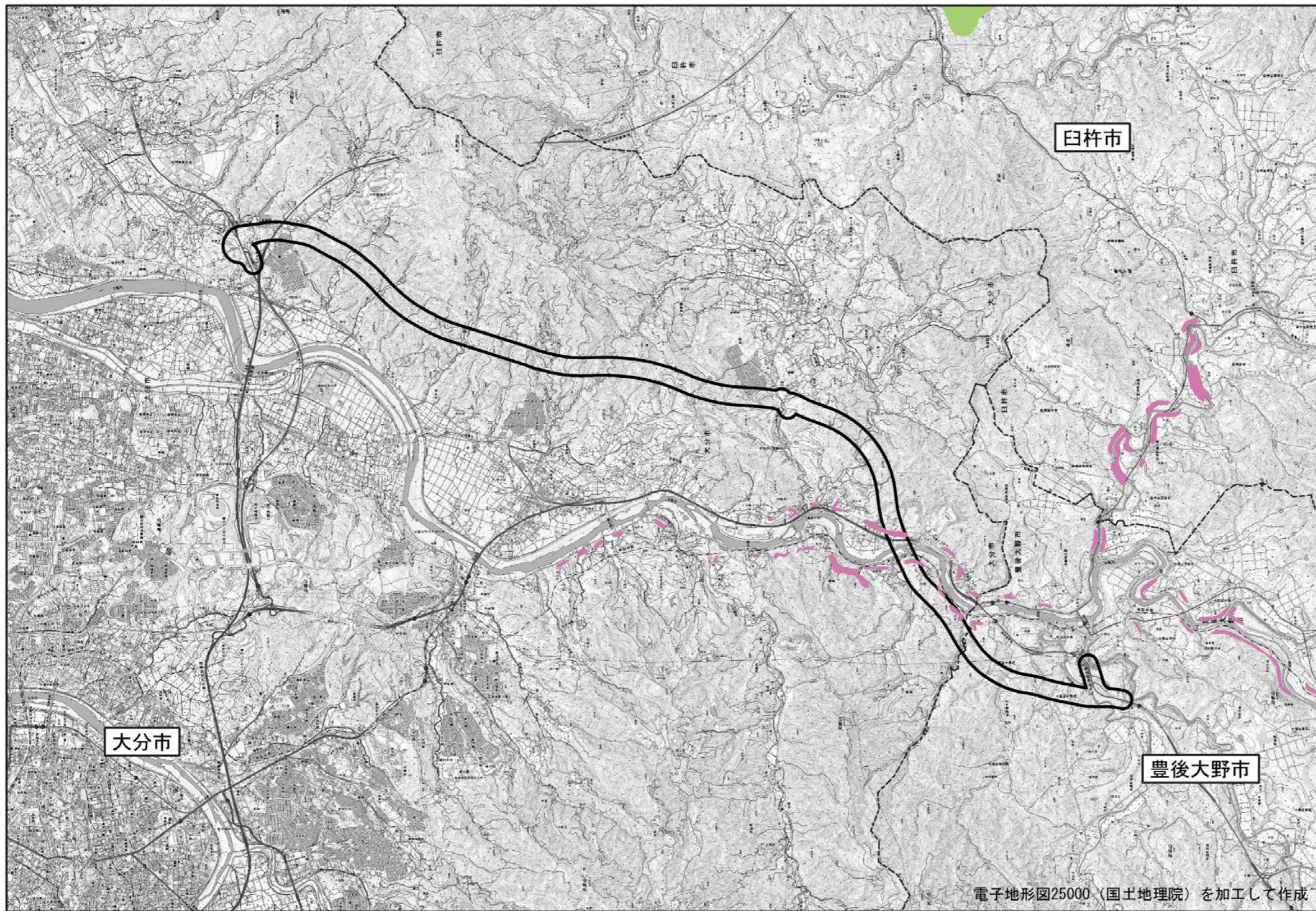
表 4.1.5-16 重要な植物群落の選定基準（植物群落）

分類	法律及び文献	選定基準及びランク
天然記念物	「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号) 「大分県文化財保護条例」(昭和 30 年大分県条例第 12 号) 「大分市文化財保護条例」(昭和 51 年条例第 3 号) 「豊後大野市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 126 号) 「臼杵市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 208 号)	特天：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
植物群落	「第 1 回自然環境保全基礎調査 1/20 すぐれた自然調査」(昭和 51 年、環境庁自然保護局) 「第 2 回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(昭和 56 年、環境庁自然保護局) 「第 3 回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(昭和 63 年、環境庁) 「第 5 回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(平成 12 年、環境省自然環境局生物多様性センター)	特定植物群落

表 4.1.5-17 重要な植物群落（植物群落）

番号	群落名	出典
1	深田付近のコジイ林	1
2	河岸断がいのアラカシ林	2

出典：1)「第 1 回自然環境保全基礎調査 1/20 すぐれた自然図 大分県」(昭和 51 年、環境庁)  
2)「第 2 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査」(昭和 56 年、環境庁)



凡例

- 都市計画対象道路  
事業実施区域
- 市町村界
- 深田付近のコジイ林
- 河岸断がいのアラカシ林

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



出典：「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図 大分県」（昭和51年、環境庁）  
 「第2回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査」（昭和56年、環境庁）

図 4.1.5-6 重要な植物群落の位置

(4) その他の重要な植物（天然記念物、巨樹・巨木林、保護樹木・保護樹林等）

重要な種・群落の選定にあたっては表 4.1.5-18 に示す法律及び文献を使用しました。

調査区域には、天然記念物が 3 箇所、巨樹・巨木林が 34 箇所、保護樹木・保護樹林が 7 箇所あります。

天然記念物は、大分市指定の「ヤマフジ（西寒多神社）」、「クスノキ（八幡神社）」の 2 箇所、豊後大野市指定の「鳥居原の大杉」1 箇所の計 3 箇所が指定されています。天然記念物の一覧は表 4.1.5-19 に、位置は図 4.1.5-7 に示すとおりです。

巨樹・巨木林は、クスノキ、イチヨウなど 34 箇所が指定されています。巨樹・巨木林の一覧は表 4.1.5-20 に、位置は図 4.1.5-8 に示すとおりです。

保護樹木は、円通寺のイチヨウなど 6 箇所が、保護樹林は、西寒多神社の森の 1 箇所が指定されています。保護樹木・保護樹林の一覧は表 4.1.5-21～表 4.1.5-22 に、位置は図 4.1.5-9 に示すとおりです。

また、大分市指定名木（樹木・樹林）として 39 箇所が指定されています。大分県指定名木の一覧は表 4.1.5-23～表 4.1.5-24 に、位置は図 4.1.5-10 に示すとおりです。

表 4.1.5-18 重要な種・群落の選定基準（天然記念物、巨樹・巨木林、保護樹木・保護樹林等）

分類	法律及び文献	選定基準及びランク
天然記念物	「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号) 「大分県文化財保護条例」(昭和 30 年大分県条例第 12 号) 「大分市文化財保護条例」(昭和 51 年条例第 3 号) 「豊後大野市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 126 号) 「臼杵市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 208 号)	特天：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
巨樹・巨木林	「第 4 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」(平成 3 年、環境庁、大蔵省印刷局) 「第 6 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査」(平成 13 年、環境省自然環境局生物多様性センター)	巨樹・巨木林
保護樹木・保護樹林等	「大分県環境緑化条例」(昭和 48 年大分県条例第 19 号) 「大分市名木保存条例」(昭和 48 年条例第 37 号)	特別保護樹木、特別保護樹林 大分市指定名木(樹木・樹林)

表 4.1.5-19 その他の重要な植物（天然記念物）

番号	区分	名称	出典
1	大分市指定	ヤマフジ（西寒多神社）	1
2		クスノキ（八幡神社）	1
3	豊後大野市指定	鳥居原の大杉	2

注) 表中の番号は図 4.1.5-7 に対応

出典：1) 「大分市 HP / 大分市の文化財」(令和 7 年 12 月現在、大分市)

2) 「豊後大野市 HP / 市内文化財一覧」(令和 7 年 12 月現在、豊後大野市)

表 4.1.5-20 その他の重要な植物（巨樹・巨木林）

番号	樹種	樹高(m)	樹幹(cm)	出典元 No
1	ムクノキ	30	400	61820
2	ムクノキ	30	300	61821
3	ムクノキ	20	465	61824
4	ヤマモモ	20	400	62606
5	ムクノキ	20	400	62679
6	ムクノキ	20	400	61747
7	クスノキ	30	400	61748
8	ムクノキ	15	410	61749
9	クスノキ	20	400	61765
10	イチヨウ	30	800	61767
11	クスノキ	20	1110	61768
12	ムクノキ	15	450	61769
13	クスノキ	20	360	61770
14	スギ	40	630	61771
15	ムクノキ	17	580	61772
16	スギ	28	390	61774
17	ムクノキ	10	460	61800
18	クスノキ	15	310	61799
19	クスノキ	35	460	61802
20	イチヨウ	25	372	61801
21	カヤ	25	524	61804
22	カヤ	30	370	61803
23	クスノキ	15	250	61808
24	ヒノキ	20	365	61809
25	イチヨウ	11	315	61810
26	タブノキ	0	230	61812
27	アカガシ	0	340	61811
28	クスノキ	20	311	61814
29	ムクノキ	30	476	61815
30	エノキ	20	312	61813
31	ムクノキ	10	300	61761
32	タブノキ	25	500	61766
33	ムクノキ	20	540	61773
34	スギ	42	370	62674

注) 表中の番号は図 4.1.5-8 に対応

出典: 「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」

(平成3年、環境庁、大蔵省印刷局)

「第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査」

(平成13年3月、環境省自然環境局生物多様性センター)

表 4.1.5-21 その他の重要な植物（保護樹木：特別保護樹木）

番号	樹木名	所在	所有	胸高 周囲 (cm)	樹高 (m)	推定樹齡 (指定現在)	指定年月日
1	クスノキ	大分市大字下戸次	楠木生 八幡社	1,080	22	1,000	昭和 49 年 3 月 15 日
2	イチョウ	大分市大字広内	円通寺	750	22	1,380	昭和 49 年 3 月 15 日
3	タブノキ	大分市大字佐野	白石昭	500	25	350	昭和 61 年 4 月 11 日
4	クスノキ	大分市大字久土	久土神社	400	20	600	平成元年 10 月 3 日
5	ナツメ	臼杵市野津町大字 野津市	原高節	185	8	400	昭和 50 年 1 月 7 日
6	ヤマモモ	臼杵市野津町大字 八里合	正光寺	370	15	400	昭和 51 年 3 月 9 日

注) 表中の番号は図 4.1.5-9 に対応

出典：「大分県 HP / 特別保護樹木一覧 (H31.4.12 更新)」(令和 7 年 12 月現在、大分県)

表 4.1.5-22 その他の重要な植物（保護樹林：特別保護樹林）

番号	名称	所在	所有	樹林の状況（主樹種）	指定年月日
7	西寒多神社の森	大分市大字寒田	西寒多神社	ヒノキ、スギ、イチイガシ、 オガタマノキ	昭和 49 年 3 月 15 日

注) 表中の番号は図 4.1.5-9 に対応

出典：「大分県 HP / 特別保護樹林一覧」(令和 7 年 12 月現在、大分県)

表 4.1.5-23 その他の重要な植物（大分市指定名木：樹木）

番号	樹木名	形状 (H18年度調査値)		樹齡 (指定 当時)	指定年月日	所在地	所有者
		樹高 (m)	幹周 (m)				
1	イチョウ	30	8	1,380	昭和49年2月1日	大分市大字広内九六位441	円通寺
2	マキノキ	5	2.78	150	昭和49年2月1日	大分市大字森町549-1	専想寺
3	ウメ	5.5	1.6	850	昭和49年2月1日	大分市大字杉原537番地(梅の木天神)	大分市
4	タブノキ	20	5.7	350	昭和49年2月1日	大分市大字佐野	個人
5	クスノキ	23	4.7	600	昭和49年2月1日	大分市大字久土1701	久土神社
6	ムクノキ	18	4.86	500	昭和49年2月1日	大分市大字寒田1423-6	大分市
7	ムクノキ	18	2.66	500	昭和49年2月1日	大分市大字久土1701	久土神社
8	ムクノキ	14	3.3	200	昭和49年2月1日	大分市大字鶴瀬	個人
9	カヤ	17	2.12	300	昭和49年2月1日	大分市大字広内九六位441	円通寺
10	カヤ	18	2.35	300	昭和49年2月1日	大分市大字広内九六位441	円通寺
11	イチイガシ	20	2.5	200	昭和49年2月1日	大分市大字一木99-1	熊野神社
12	スギ	28	4.22	400	昭和55年7月24日	大分市大字端登伊予床4637	五柱神社
13	タブ	12.3	2.9	130	昭和55年7月24日	大分市大字上判田2023	小岳山神社
14	マキ	17	2.15	700	昭和55年11月22日	大分市大字横尾二目川4152	水分社
15	ムクノキ	17	4.18	600	昭和58年4月4日	大分市下郡北2丁目212	霜凝神社
16	クスノキ	25	4.84	500	昭和58年4月4日	大分市大字曲1159	曲八幡神社
17	イチョウ	18	2.47	220	昭和63年12月9日	大分市大字丹川2094	薬師堂
18	ムクノキ	20	4.85	400	平成4年12月3日	大分市大字松岡4180	金比羅神社
19	ムクノキ	25	3.6	700	平成4年12月3日	大分市大字河原内3666	中野神社
20	ムクノキ	21	3.37	700	平成4年12月3日	大分市大字河原内2746	中野神社
21	ヤブツバキ	10	2	180	平成8年3月6日	大分市大字河原内	個人
22	ニッケイ	13	1.6	100	平成8年11月25日	大分市大字河原内	個人
23	ヤブツバキ (4本)	9	0.92~1.75	100	平成8年11月25日	大分市大字河原内	個人
24	ムクノキ(2本)	17	2.7~3.1	100	平成8年11月25日	大分市大字河原内	個人
25	カゴノキ	17	2.17	100	平成8年11月25日	大分市大字河原内	個人
26	ムクノキ	15	3.45	110	平成8年11月25日	大分市大字河原内	個人
27	イスノキ(2本)	16~17	1.9~1.95	100	平成8年11月25日	大分市大字河原内	個人
28	クスノキ	25	5.18	200	平成15年7月22日	大分市大字松岡422	天満神社
29	スダジイ	17	2.8	150	平成20年9月1日	大分市大字上判田	個人
30	ヤブツバキ	15	2	200	平成20年9月1日	大分市大字河原内	個人
31	スギ	20	3.55	200	平成21年9月1日	大分市大字松岡字小牧山	個人
32	スギ	25	3.27 3.41 3.06	150	平成22年4月1日	大分市大字河原内	個人
33	コジイ	15	2.9	100	平成24年5月1日	大分市大字上戸次	個人
34	イロハモミジ	20	2.4	110	令和4年4月1日	大分市大字広内	個人
35	クスノキ(2本)	18~20	3.8 5.7	120	令和6年4月1日	大分市大字猪野74番地(明治小)	大分市教育委員会

注1) 表中の番号は図4.1.5-10に対応

注2) 番号4、8、21~27、29~34については、個人所有である又は詳細な位置が公表されていないため図示していません

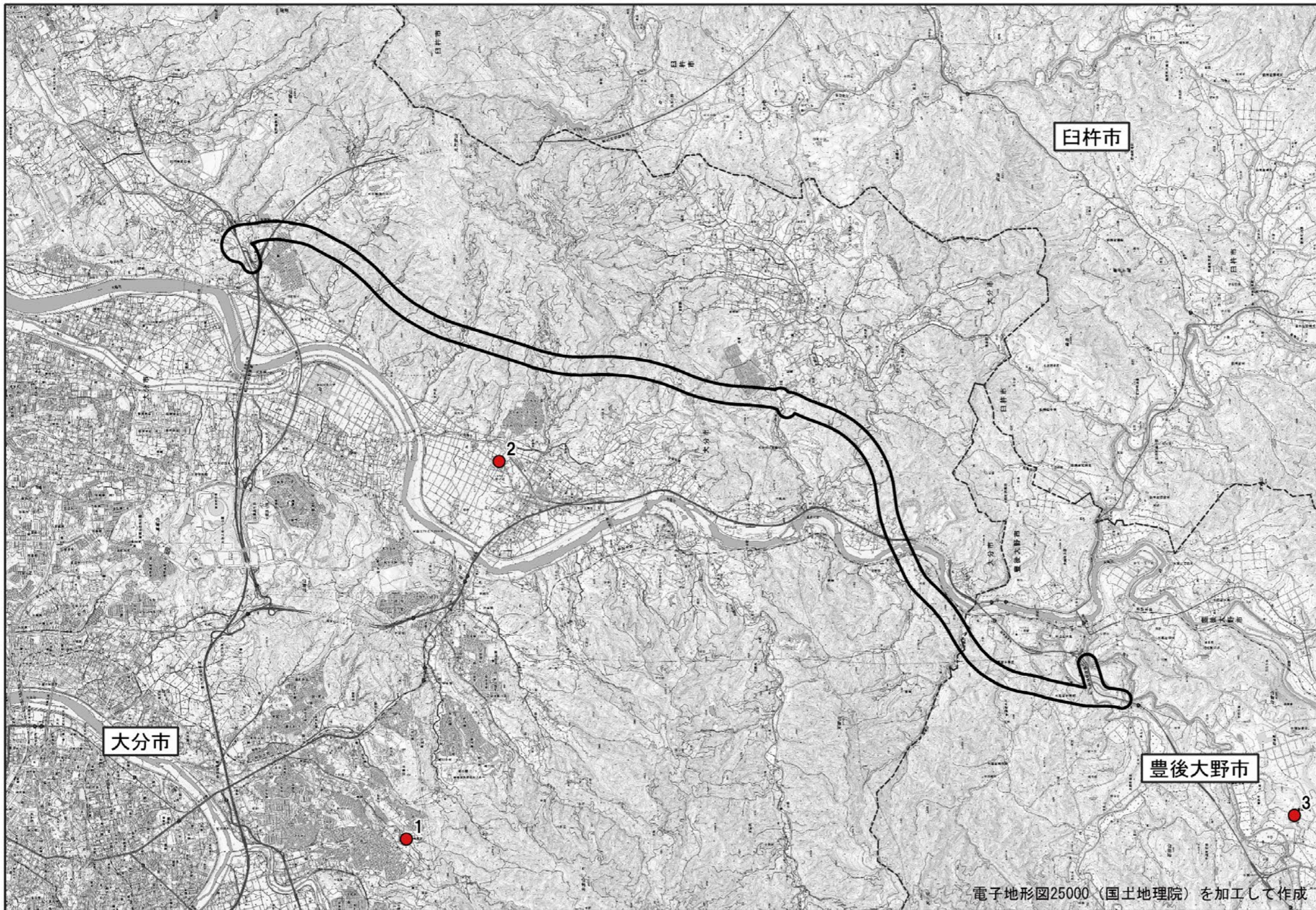
出典:「大分市HP/大分市指定名木一覧表」(令和7年12月現在、大分市)

表 4.1.5-24 その他の重要な植物（大分市指定名木：樹林）




番号	樹林名	総面積 (m <sup>2</sup> )	樹林面積 (m <sup>2</sup> )	指定年月日	所在地	所有者
36	西寒多神社の森	15,000	12,000	昭和 49 年 2 月 1 日	大分市大字寒田	西寒多神社
37	丹生神社の森	5,000	3,000	昭和 49 年 2 月 1 日	大分市大字佐野	丹生神社
38	高尾神社の森	5,000	3,000	昭和 49 年 2 月 1 日	大分市大字宮尾	高尾神社
39	熊野神社の森	1,000	600	昭和 49 年 2 月 1 日	大分市大字一木	熊野神社
40	本宮神社の森	4,900	4,410	昭和 60 年 5 月 24 日	大分市大字上判田	本宮神社

注) 表中の番号は図 4.1.5-10 に対応

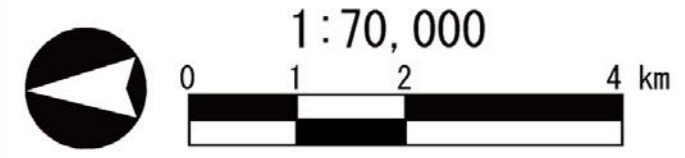
出典:「大分市 HP / 大分市指定名木一覧表」(令和 7 年 12 月現在、大分市)



凡例

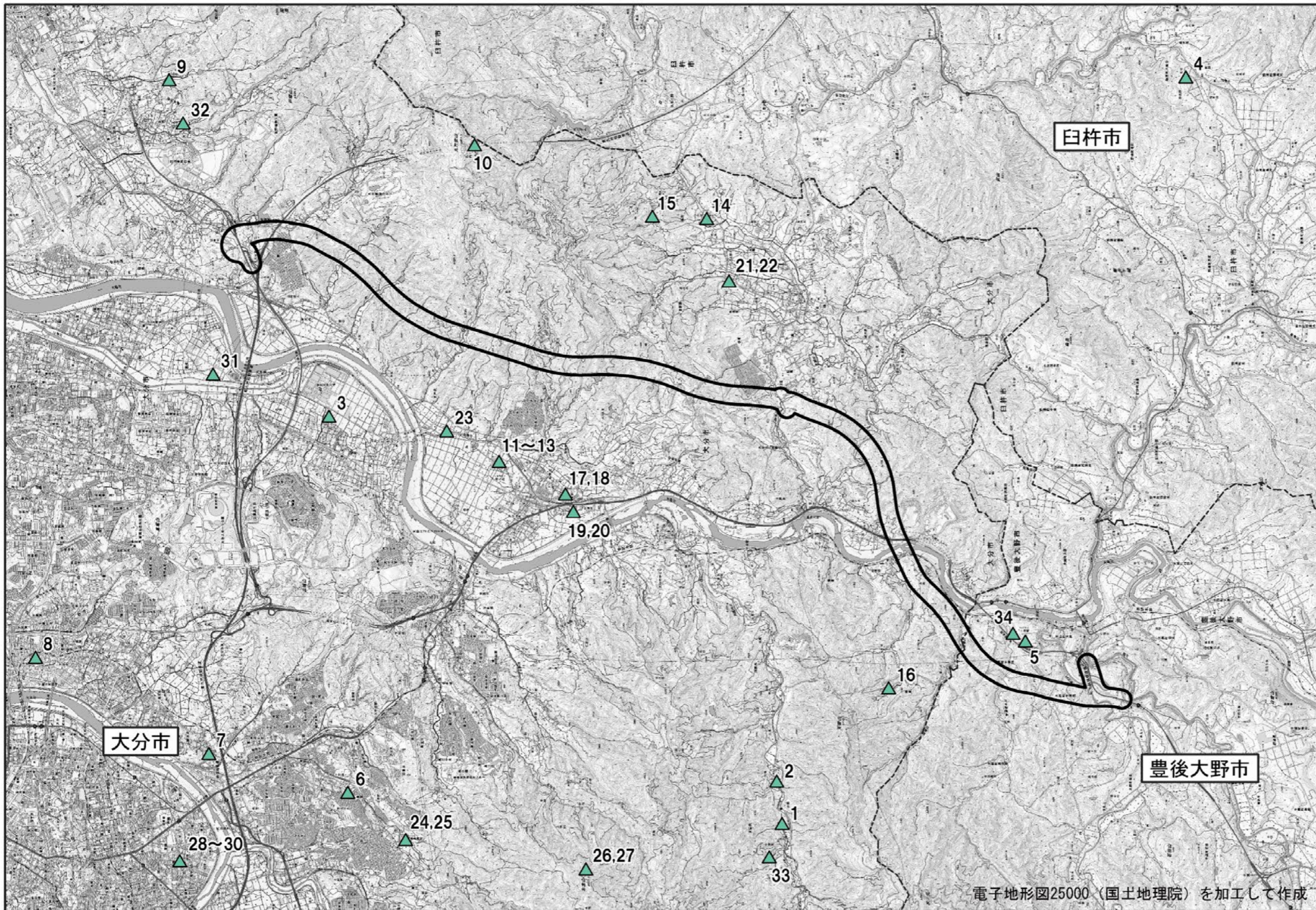
-  都市計画対象道路  
事業実施区域
-  市町村界
-  天然記念物

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



出典：「大分市 HP / 大分市の文化財」(令和7年12月現在、大分市)  
 「豊後大野市 HP / 市内文化財一覧」(令和7年12月現在、豊後大野市)

図 4.1.5-7 その他の重要な植物の位置（天然記念物）



凡例

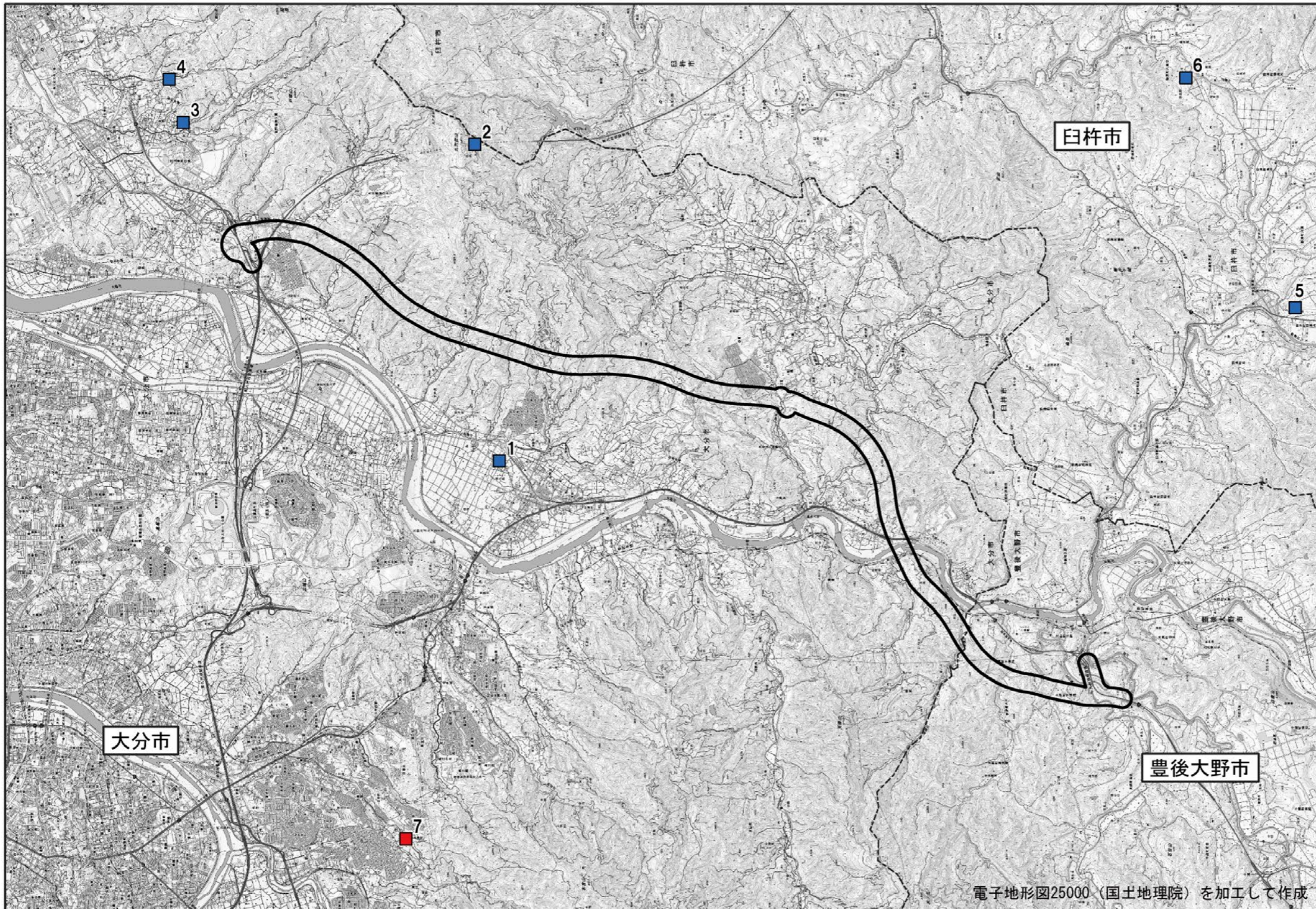
- 都市計画対象道路  
事業実施区域
- 市町村界
- ▲ 巨樹・巨木林

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成


出典：「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」（平成3年、環境庁、大蔵省印刷局）  
 「第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査」（平成13年3月、環境省自然環境局生物多様性センター）



図 4.1.5-8 その他の重要な植物の位置（巨樹・巨木林）



凡例

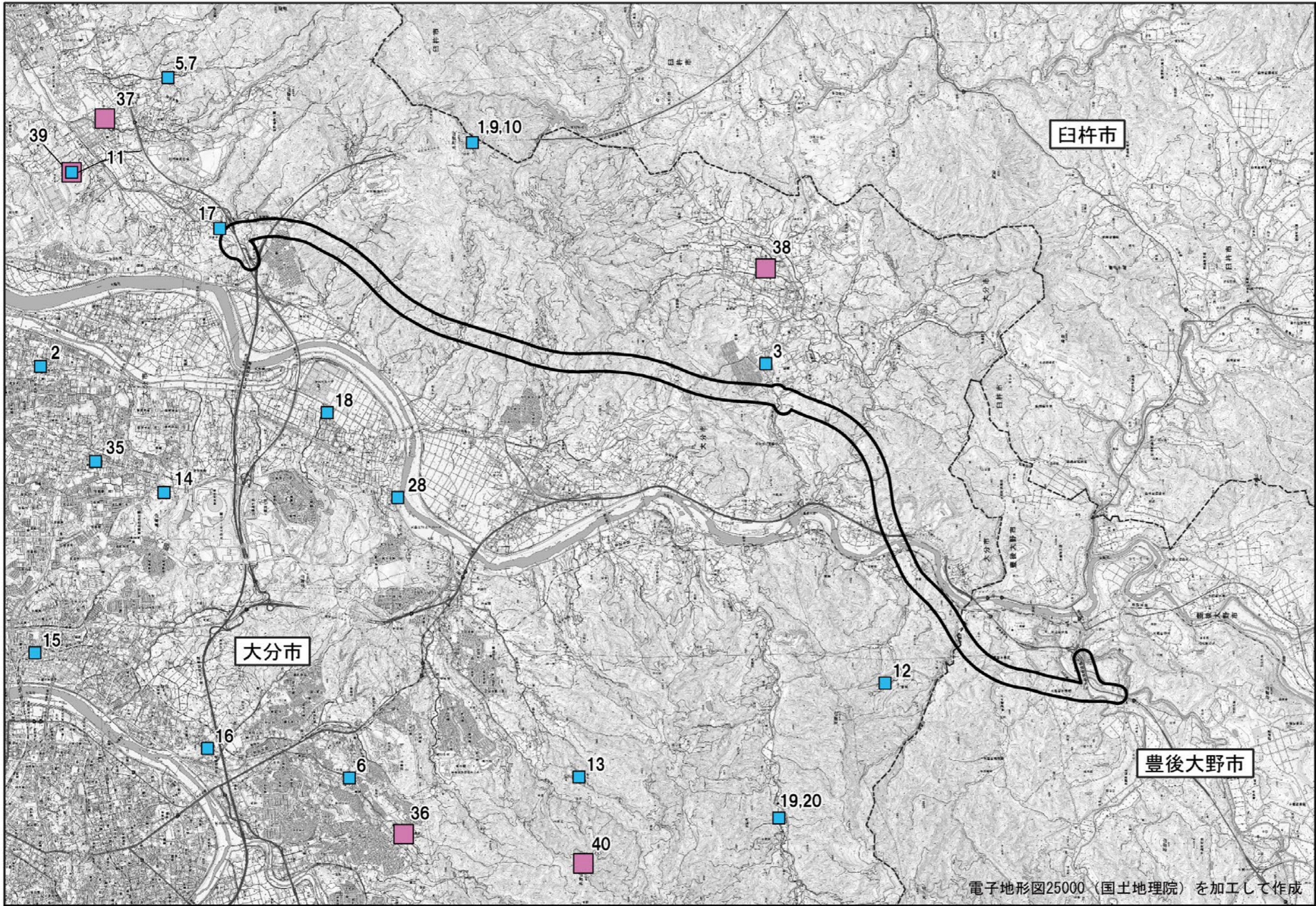
-  都市計画対象道路  
事業実施区域
-  市町村界
-  特別保護樹木
-  特別保護樹林





電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



出典：「大分県 HP / 特別保護樹木一覧（H31.4.12 更新）」（令和7年12月現在、大分県）  
 「大分県 HP / 特別保護樹林一覧」（令和7年12月現在、大分県）

図 4.1.5-9 その他の重要な植物の位置（保護樹木・保護樹林）



- 凡例
-  都市計画対象道路  
事業実施区域
  -  市町村界
  -  名木 (樹木)
  -  名木 (樹林)

電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成

注) 番号 4, 8, 21~27, 29~33 については、個人所有であり又は詳細な位置が公表されていないため図示していません  
 出典: 「大分市 HP / 大分市指定名木一覧表」(令和7年12月現在、大分市)



図 4.1.5-10 その他の重要な植物の位置 (大分市指定名木)

### 3)生態系の状況

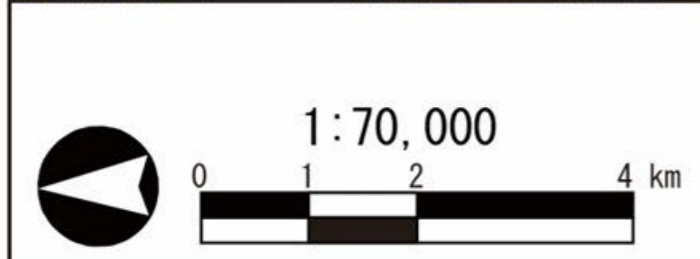
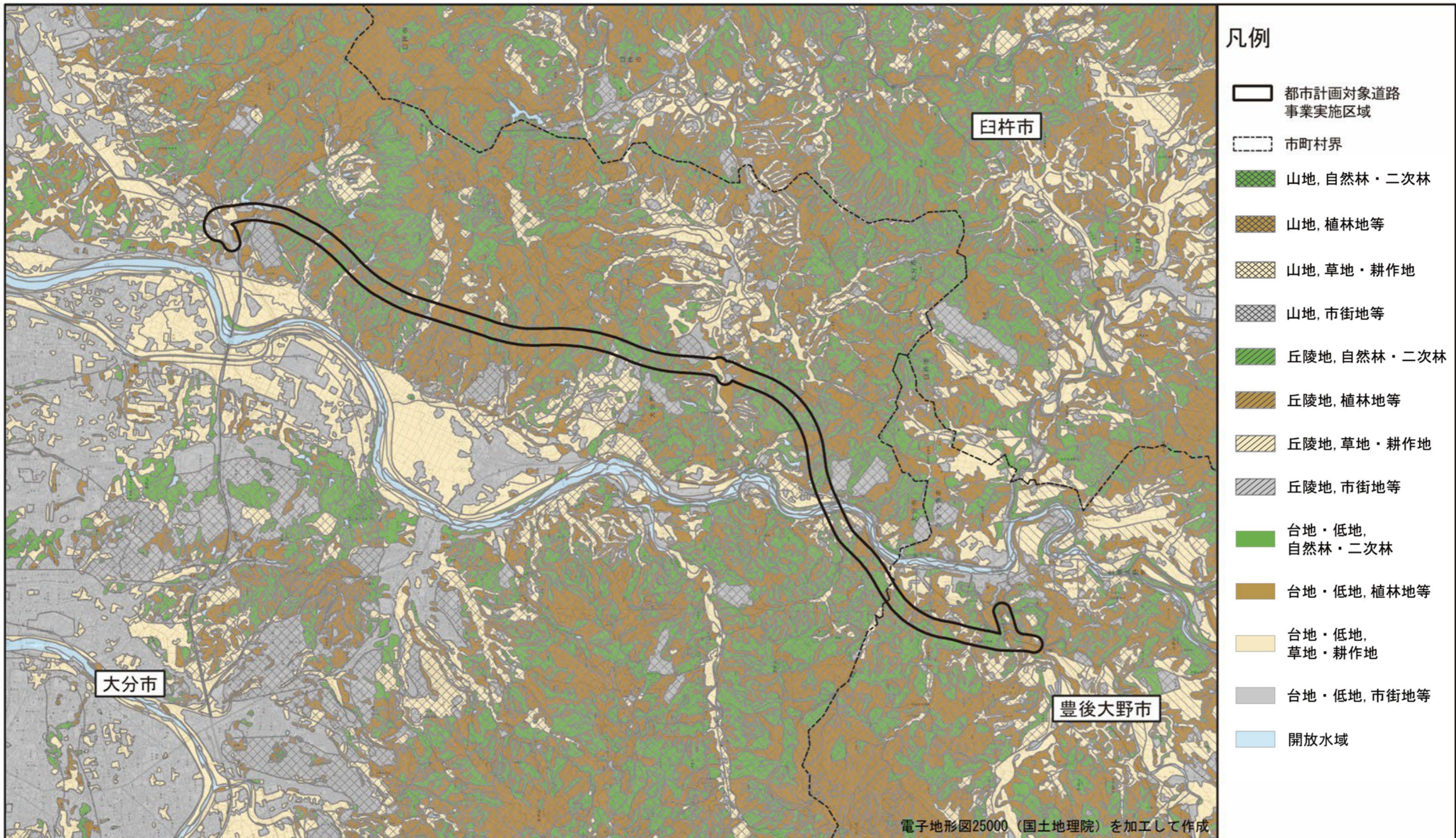
#### (1)自然環境類型区分

調査区域の自然環境について、地形、水象、植生等の観点から、自然環境の類型区分を行いました。

自然環境類型区分の一覧は、表 4.1.5-25 に示すとおりです。

表 4.1.5-25 自然環境類型区分の概要

自然環境類型区分		主要な植生等
地形区分	植生区分等	
山地	自然林・二次林	アラカシ群落、サカキ - コジイ群集、ヤブコウジ - スダジイ群集、シイ・カシ二次林、コナラ群落( )、アカマツ群落( ) 等
	植林地等	スギ・ヒノキ・サワラ植林、クヌギ植林、竹林 等
	草地・耕作地	チガヤ - ススキ群落、路傍・空地雑草群落、果樹園、畑雑草群落、水田雑草群落 等
	市街地等	-
丘陵地	自然林・二次林	シイ・カシ二次林、コナラ群落( ) 等
	植林地等	スギ・ヒノキ・サワラ植林、クヌギ植林、竹林 等
	草地・耕作地	チガヤ - ススキ群落、路傍・空地雑草群落、畑雑草群落、水田雑草群落 等
	市街地等	-
台地・低地	自然林・二次林	アラカシ群落、ルリミノキ - イチイガシ群集、ヤナギ低木群落( )、シイ・カシ二次林、コナラ群落( )、アカメガシワ - カラスザンショウ群落 等
	植林地等	スギ・ヒノキ・サワラ植林、クヌギ植林、竹林 等
	草地・耕作地	チガヤ - ススキ群落、路傍・空地雑草群落、果樹園、畑雑草群落、水田雑草群落 等
	市街地等	-
開放水域	淡水域	ヨシクラス、ツルヨシ群集、開放水域 等



注) 自然環境類型区分図は、動物や植物の生息・生育環境として関連が強いと考えられる、地形分類図及び現存植生図を基に作成。  
 出典: 「第6-7回自然環境保全基礎調査 植生調査」(令和7年12月現在、環境省自然環境局生物多様性センター)  
 「5万分の1 土地分類基本調査(地形分類図)」「大分・佐賀関」(昭和54年3月、国土交通省)  
 「5万分の1 土地分類基本調査(地形分類図)」「犬飼」(昭和50年3月、国土交通省)

図 4.1.5-11 自然環境類型区分図

(2)地域を特徴づける生態系の抽出及びその状況

調査区域の生態系は、山地の樹林地、丘陵地の樹林地・耕作地、台地・低地の耕作地、開放水域（淡水域）の生態系に大きく区分されると考えられます（地域を特徴づける生態系）。調査区域における地域を特徴づける生態系の区分は表 4.1.5-26 に、分布は図 4.1.5-12 に示すとおりです。各生態系とも立地環境の特性に応じた生息・生育基盤が成立しており、その基盤の特性に応じた種・群集で該当の生態系が構成されています。これらの生態系の主な構成種・群集は表 4.1.5-27 に、これらを代表する生物による模式的な食物連鎖の関係は図 4.1.5-13～図 4.1.5-16 に示すとおりです。

山地の樹林地を中心とする生態系では、シイ・カシ二次林等の樹林や畑雑草群落等の草地・耕作地があります。これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてオオオサムシ、ミンミンゼミ等の昆虫類・クモ類、それらを食するアカネズミ、アオバト等の小型哺乳類・鳥類、ニホントカゲ等の爬虫類、高次消費者としてキツネ、クマタカ等の中型の哺乳類・鳥類が生息しています。

丘陵地の樹林・耕作地を中心とする生態系では、コナラ群落等の樹林や水田雑草群落、畑雑草群落等の草地・耕作地があります。これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてタマムシ、ヒグラシ等の昆虫類・クモ類、それらを食するアカネズミ、ヒヨドリ等の小型哺乳類・鳥類、ニホントカゲ等の爬虫類、高次消費者としてキツネ、サシバ、フクロウ等の中型の哺乳類・鳥類が生息しています。

台地・低地の耕作地を中心とする生態系では、スギ・ヒノキ・サワラ植林等の樹林や水田雑草群落、畑雑草群落等の草地・耕作地があります。これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてヒグラシ、ショウリョウバッタ等の昆虫類・クモ類、それらを食するアカネズミ、ヒヨドリ等の小型哺乳類・鳥類、ニホントカゲ等の爬虫類、高次消費者としてキツネ、サシバ、フクロウ等の中型の哺乳類・鳥類が生息しています。

開放水域を中心とする生態系では、河川上下流域等の開放水域があり、生産者としてヨシクラス等が生育しています。これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてモツゴ、ゲンジボタル、マルタニシ等の魚類・昆虫類・クモ類・底生動物、それらを食するカモ類、ギンブナ等の鳥類・魚類、高次消費者としてイタチ属、ミサゴ、サギ類等の中型の哺乳類・鳥類が生息しています。

表 4.1.5-26 地域を特徴づける生態系の区分の概要

自然環境類型区分		地域を特徴づける生態系の区分
地形区分	植生区分等	
山地	自然林・二次林	山地の樹林地を中心とする生態系
	植林地等	
	草地・耕作地	
	市街地等	
丘陵地	自然林・二次林	丘陵地の樹林・耕作地を中心とする生態系
	植林地等	
	草地・耕作地	
	市街地等	
台地・低地	自然林・二次林	台地・低地の耕作地を中心とする生態系
	植林地等	
	草地・耕作地	
	市街地等	
開放水域	淡水域	水域を中心とする生態系



表 4.1.5-27 地域を特徴づける生態系の区分及び主な構成種・群集

自然環境類型区分		主要な植生等	主な構成種・群集	地域を特徴づける生態系
地形区分	植生区分等			
山地	自然林・二次林	アラカシ群落、サカキ - コジイ群集、ヤブコウジ - スダジイ群集、シイ・カシ二次林、コナラ群落( ) アカマツ群落( ) 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、ヒメネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 、イノシシ、ニホンジカ 鳥類：ヤマドリ、アオバト、オオタカ、サシバ、クマタカ、フクロウ、カケス、シジュウカラ、ヒヨドリ 爬虫類：ニホントカゲ、タカチホヘビ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：ミンミンゼミ、オオムラサキ、マイマイカブリ、オオオサムシ 両生類：タゴガエル 陸産貝類：ヤマタニシ	山地の樹林を中心とする生態系
	植林地等	スギ・ヒノキ・サワラ植林、クヌギ植林、竹林 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 、イノシシ、ニホンジカ 鳥類：ヤマドリ、オオタカ、サシバ、クマタカ、フクロウ、カケス、シジュウカラ、ヒヨドリ 爬虫類：ニホントカゲ、タカチホヘビ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：ヒグラシ、ゴイシシジミ、マイマイカブリ、オオオサムシ 両生類：タゴガエル 陸産貝類：ヤマタニシ	
	草地・耕作地	チガヤ - ススキ群落、路傍・空地雑草群落、果樹園、畑雑草群落、水田雑草群落 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、カヤネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 、イノシシ 鳥類：キジ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、オオタカ、サシバ、フクロウ、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、ホオジロ 爬虫類：ニホントカゲ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：アキアカネ、オオウラギンスジヒョウモン、セグロアシナガバチ本土亜種 両生類：ニホンアマガエル、ツチガエル、ヌマガエル 陸産貝類：ナガオカモノアラガイ、ウスカワマイマイ	
	市街地等	-	哺乳類：ハツカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 鳥類：キジバト、オオタカ、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ 爬虫類：ニホンヤモリ、ニホントカゲ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：アブラゼミ、ツマグロヒョウモン、セグロアシナガバチ本土亜種 両生類：ニホンアマガエル、ヌマガエル 陸産貝類：ウスカワマイマイ	
丘陵地	自然林・二次林	シイ・カシ二次林、コナラ群落( ) 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、ヒメネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 、イノシシ、ニホンジカ 鳥類：キジバト、アオバト、オオタカ、サシバ、フクロウ、カケス、シジュウカラ、ヒヨドリ 爬虫類：ニホントカゲ、タカチホヘビ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：アブラゼミ、ムラサキツバメ、マイマイカブリ、タマムシ 両生類：オオイタサンショウウオ、ニホンアカガエル 陸産貝類：ヤマタニシ	丘陵地の樹林・耕作地を中心とする生態系
	植林地等	スギ・ヒノキ・サワラ植林、クヌギ植林、竹林 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 、イノシシ、ニホンジカ 鳥類：キジバト、オオタカ、サシバ、フクロウ、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ 爬虫類：ニホントカゲ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：アブラゼミ、ヒグラシ、ゴイシシジミ、マイマイカブリ、ノコギリカミキリ 両生類：オオイタサンショウウオ、ニホンアカガエル 陸産貝類：ヤマタニシ	
	草地・耕作地	チガヤ - ススキ群落、路傍・空地雑草群落、畑雑草群落、水田雑草群落 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、カヤネズミ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 、イノシシ 鳥類：キジ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、オオタカ、サシバ、フクロウ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、ホオジロ 爬虫類：ニホントカゲ、アオダイショウ 両生類：オオイタサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ツチガエル、ヌマガエル 昆虫類・クモ類：ウスバキトンボ、ショウリョウバッタ、ツマグロヒョウモン、セグロアシナガバチ本土亜種 陸産貝類：ナガオカモノアラガイ、ウスカワマイマイ	
	市街地等	-	哺乳類：ハツカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 鳥類：キジバト、オオタカ、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ 爬虫類：ニホンヤモリ、ニホントカゲ、アオダイショウ 両生類：ニホンアマガエル、ヌマガエル 昆虫類・クモ類：ショウリョウバッタ、クマゼミ、アブラゼミ、ツマグロヒョウモン、セグロアシナガバチ本土亜種 陸産貝類：ウスカワマイマイ	
台地・低地	自然林・二次林	アラカシ群落、ルリミノキ - イチイガシ群集、ヤナギ低木群落( V I )、シイ・カシ二次林、コナラ群落( V I I )、アカメガシワ - カラスザンショウ群落 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 鳥類：キジバト、オオタカ、サシバ、フクロウ、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ 爬虫類：ニホントカゲ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：アブラゼミ、ムラサキツバメ、マイマイカブリ、タマムシ 両生類：オオイタサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル 陸産貝類：ヤマタニシ	台地・低地の耕作地を中心とする生態系
	植林地等	スギ・ヒノキ・サワラ植林、クヌギ植林、竹林 等	哺乳類：ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 鳥類：オオタカ、サシバ、フクロウ、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ 爬虫類：ニホントカゲ、アオダイショウ 昆虫類・クモ類：アブラゼミ、ヒグラシ、ゴイシシジミ、マイマイカブリ、ノコギリカミキリ 両生類：オオイタサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル 陸産貝類：ヤマタニシ	
	草地・耕作地	チガヤ - ススキ群落、路傍・空地雑草群落、果樹園、畑雑草群落、水田雑草群落 等	哺乳類：ハツカネズミ、アカネズミ、カヤネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 鳥類：カワラバト(ドバト)、アオサギ、ダイサギ、オオタカ、サシバ、フクロウ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、ホオジロ 爬虫類：ニホントカゲ、アオダイショウ 両生類：オオイタサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ヌマガエル 昆虫類・クモ類：ウスバキトンボ、ショウリョウバッタ、ツマグロヒョウモン、セグロアシナガバチ本土亜種 陸産貝類：ナガオカモノアラガイ、ウスカワマイマイ	
	市街地等	-	哺乳類：ハツカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ属 <sup>1</sup> 鳥類：カワラバト(ドバト)、オオタカ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ 爬虫類：ニホンヤモリ、ニホントカゲ、アオダイショウ 両生類：ニホンアマガエル、ヌマガエル 昆虫類・クモ類：ショウリョウバッタ、クマゼミ、ツマグロヒョウモン、セグロアシナガバチ本土亜種 陸産貝類：ウスカワマイマイ	
開放水域	淡水域	ヨシクラス、ツルヨシ群集、開放水域 等	哺乳類：カワネズミ、イタチ属 <sup>1</sup> 鳥類：マガモ、カルガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、イソシギ、ミサゴ、カワセミ 爬虫類：ニホンイシガメ、クサガメ、ニホンスッポン 両生類：ニホンアマガエル、ツチガエル、ヌマガエル、カジカガエル 魚類：フナ属 <sup>2</sup> 、カワムツ、ナマス、ミナミメダカ 昆虫類・クモ類：カゲロウ類、ハグロトンボ、ギンヤンマ、ミズカマキリ、トビケラ類、コガタノゲンゴロウ、ゲンジボタル 底生動物：カワニナ、イシガイ、スジエビ、サワガニ、モクスガニ	水域を中心とする生態系

注) 種名及び分類は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に準じました。

1) イタチ属にはシベリアイタチとニホンイタチの2種が含まれると考えられますが、両種の生息環境が同様であることから、まとめてイタチ属として表記しました。

2) フナ属には複数種が含まれると考えられますが、全て生息環境が同様であると想定されることから、まとめてフナ属として表記しました。

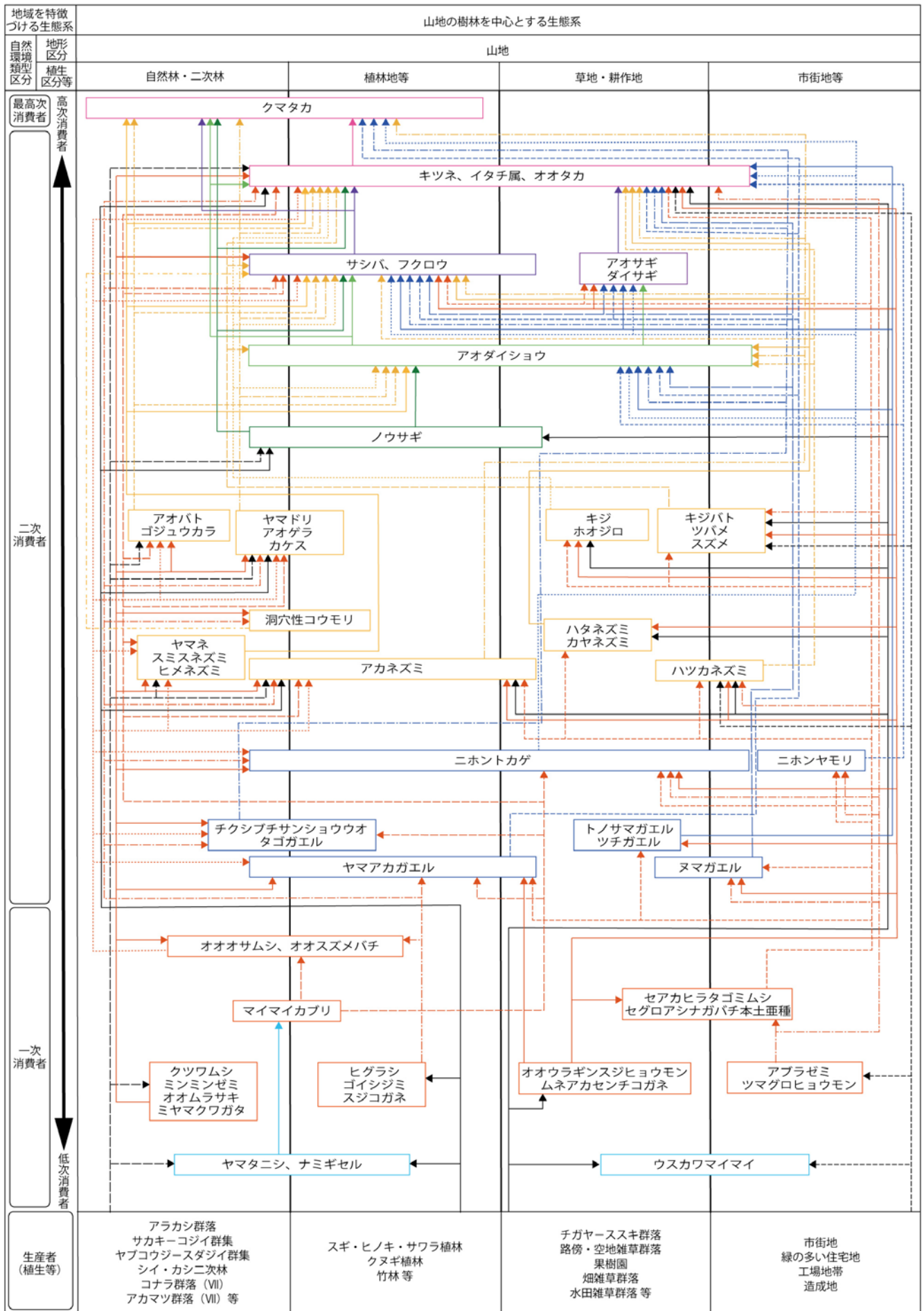


図 4.1.5-13 山地の樹林を中心とする生態系における模式的な食物連鎖図

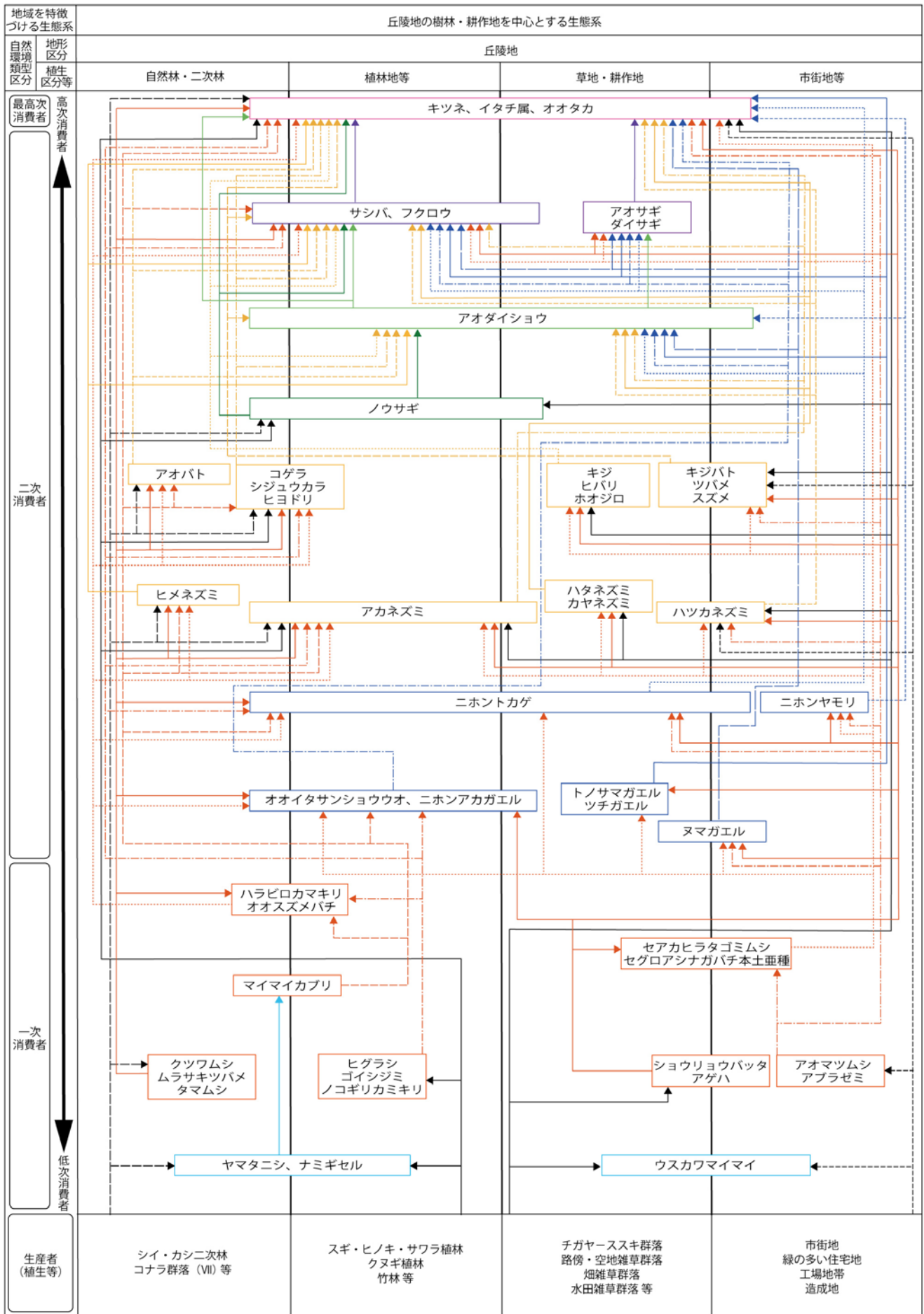


図 4.1.5-14 丘陵地の樹林・耕作地を中心とする生態系における模式的な食物連鎖図

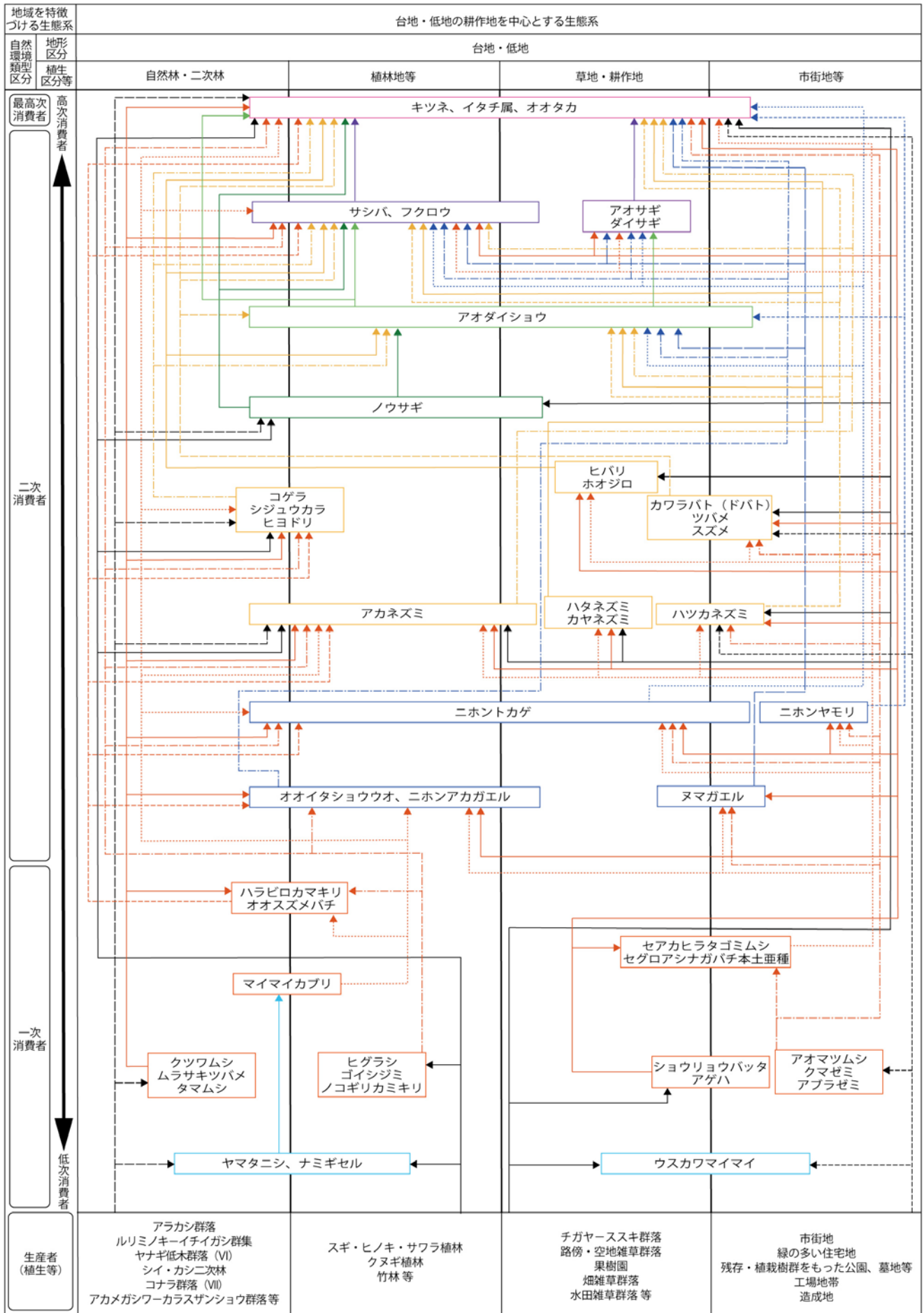


図 4.1.5-15 台地・低地の耕作地を中心とする生態系における模式的な食物連鎖図

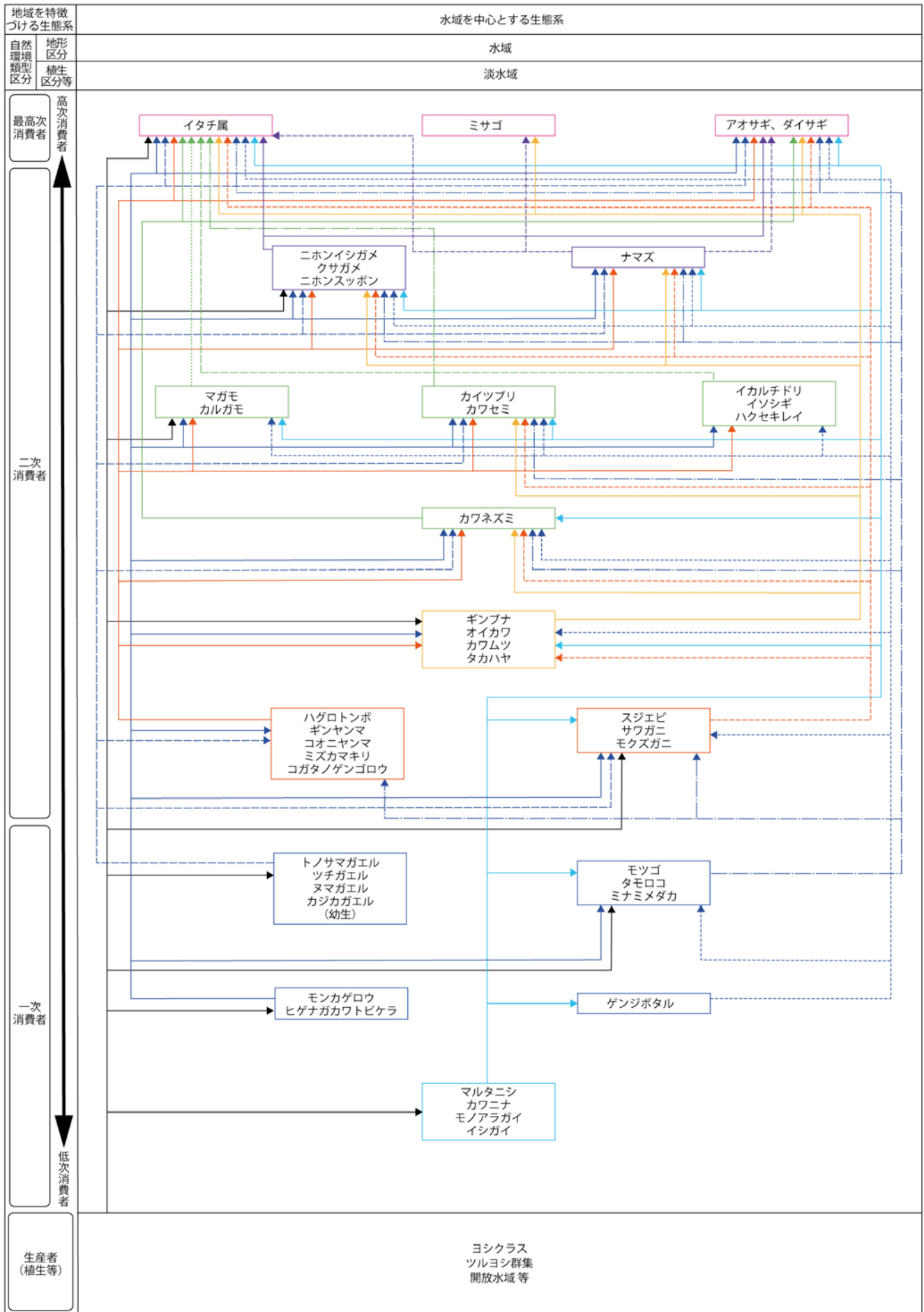


図 4.1.5-16 水域を中心とする生態系における模式的な食物連鎖図

### (3) 地域を特徴づける生態系の注目種・群集

生態系の構成を踏まえ、事業の影響による生態系の構造と機能の変化を指標する種・種群として、上位性・典型性及び特殊性の視点から調査区域の生態系の特性を効率的かつ効果的に把握できるような種・種群を、注目される動植物の種又は群集（以下、「注目種・群集」と呼称します。）の候補として抽出しました。なお、注目種・群集を抽出する際の上位性・典型性及び特殊性の考え方は、表 4.1.5-28 に示すとおりです。

調査区域の地域を特徴づける各生態系の注目種・群集の抽出結果は表 4.1.5-29 に、抽出された注目種・群集の分布模式図は図 4.1.5-17 に示すとおりです。

表 4.1.5-28 上位性、典型性及び特殊性の考え方

視点	抽出の観点
上位性	生態系を形成する動植物種等において栄養段階の上位に位置する種を対象とする。該当する種は栄養段階の上位の種で、生態系の攪乱や環境変化等の総合的な影響を指標しやすい種が対象となる。また、小規模な湿地やため池等、対象地域における様々な空間スケールの生態系における食物網にも留意し、対象種を選定する。そのため、哺乳類、鳥類等の行動圏の広い大型の脊椎動物以外に、爬虫類、魚類等の小型の脊椎動物や、昆虫類等の無脊椎動物も対象となる場合がある。
典型性	対象地域の生態系の中で、各環境類型区分内における動植物種等と基盤的な環境あるいは動植物種等との相互連関を代表する動植物種等、生態系の機能に重要な役割を担うような動植物種等（例えば、生態系の物質循環に大きな役割を果たしている、現存量や専有面積の大きい植物種、個体数が多い動物種、代表的なギルドに属する種等）、動植物種等の多様性を特徴づける種、生態遷移を特徴づける種、回遊魚のように異なる生態系間を移動する種等が対象となる。また、環境類型区分ごとの空間的な階層構造にも着目し、選定する。
特殊性	湧水地、洞窟、噴気口の周辺、石灰岩地域や、砂泥底海域に孤立した岩礁や貝殻礁等、成立条件が特殊な環境で、対象事業に比べて比較的小規模である場に注目し、そこに生息する動植物種等を選定する。該当する動植物種等としては特殊な環境要素や特異な場の存在に生息が強く規定される動植物種等が挙げられる。

同一の栄養段階に属し、ある共通の資源に依存して生活している種のグループ  
 出典：「環境アセスメント技術ガイド 生物の多様性・自然との触れ合い」  
 （平成 29 年 3 月、一般社団法人 日本環境アセスメント協会）

表 4.1.5-29 上位性、典型性、特殊性の観点から抽出される注目種・群集

地域を特徴づける生態系	区分	注目種等	抽出理由
山地の樹林を中心とする生態系	上位性	クマタカ	栄養段階の上位に位置し、当該生息基盤を繁殖地や採食地として利用する鳥類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		キツネ	栄養段階の上位に位置する哺乳類。目視、痕跡確認等により生息状況を把握することが可能。
	典型性	ヤマドリ	主に森林に典型的に生息する鳥類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		タゴガエル	主に溪流周辺の森林に典型的に生息する両生類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		オオオサムシ	主に森林やその周辺に生息する昆虫類。直接観察及び採取等により生息状況を把握することが可能。
	シイ・カシ二次林	当該地域の山地に広く分布し、様々な動物の生活場所として機能する。植生調査により分布状況を把握することが可能。	
特殊性	洞穴性コウモリ類	当該地域では大分市南部の尾津留洞窟等の洞穴が存在することから、洞穴性コウモリ類が生息する可能性がある。	
丘陵地の樹林・耕作地を中心とする生態系	上位性	オオタカ、サシバ	栄養段階の上位に位置し、当該生息基盤を繁殖地や採食地として利用する鳥類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		キツネ	栄養段階の上位に位置する哺乳類。目視、痕跡確認等により生息状況を把握することが可能。
	典型性	アカネズミ	主に森林や耕作地等に典型的に生息する哺乳類。捕獲等により生息状況を把握することが可能。
		オオイタサンショウウオ	主に平地や丘陵地等に典型的に生息する両生類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		タムムシ	主に雑木林等に典型的に生息する昆虫類。直接観察及び採取等により生息状況を把握することが可能。
		コナラ群落	当該地域の丘陵地に広く分布し、様々な動物の生活場所として機能する。植生調査により分布状況を把握することが可能。
台地・低地の耕作地を中心とする生態系	上位性	オオタカ、サシバ	栄養段階の上位に位置し、当該生息基盤を繁殖地や採食地として利用する鳥類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		イタチ属	栄養段階の上位に位置する哺乳類。目視、痕跡確認等により生息状況を把握することが可能。
	典型性	カヤネズミ	主に草地等に典型的に生息する哺乳類。痕跡確認、捕獲等により生息状況を把握することが可能。
		ヒバリ	主に草地、耕作地等に典型的に生息する鳥類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		ヌマガエル	主に沼地や水田等の水辺に典型的に生息する両生類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		ショウリョウバッタ	主に明るい草地に典型的に生息する昆虫類。直接観察及び採取等により生息状況を把握することが可能。
		チガヤ - ススキ群落	当該地域の低地・台地に広く分布し、様々な動物の生活場所として機能する。植生調査により分布状況を把握することが可能。
水域を中心とする生態系	上位性	ミサゴ	栄養段階の上位に位置し、当該生息基盤を繁殖地や採食地として利用する鳥類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		サギ類	栄養段階の上位に位置し、当該生息基盤を繁殖地や採食地として利用する鳥類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
	典型性	ヌマガエル	主に水田や沼地等の水辺に典型的に生息する両生類。目視確認等により生息状況を把握することが可能。
		ギンブナ	渓流域を除くほとんどの淡水環境に典型的に生息する魚類。直接観察及び採取等により生息状況を把握することが可能。
		コガタノゲンゴロウ	主に池沼や流れの緩やかな河川等に典型的に生息する昆虫類。直接観察及び採取等により生息状況を把握することが可能。
ヨシクラス	当該地域の水域に広く分布し、様々な動物の生活場所として機能する。植生調査により分布状況を把握することが可能。		

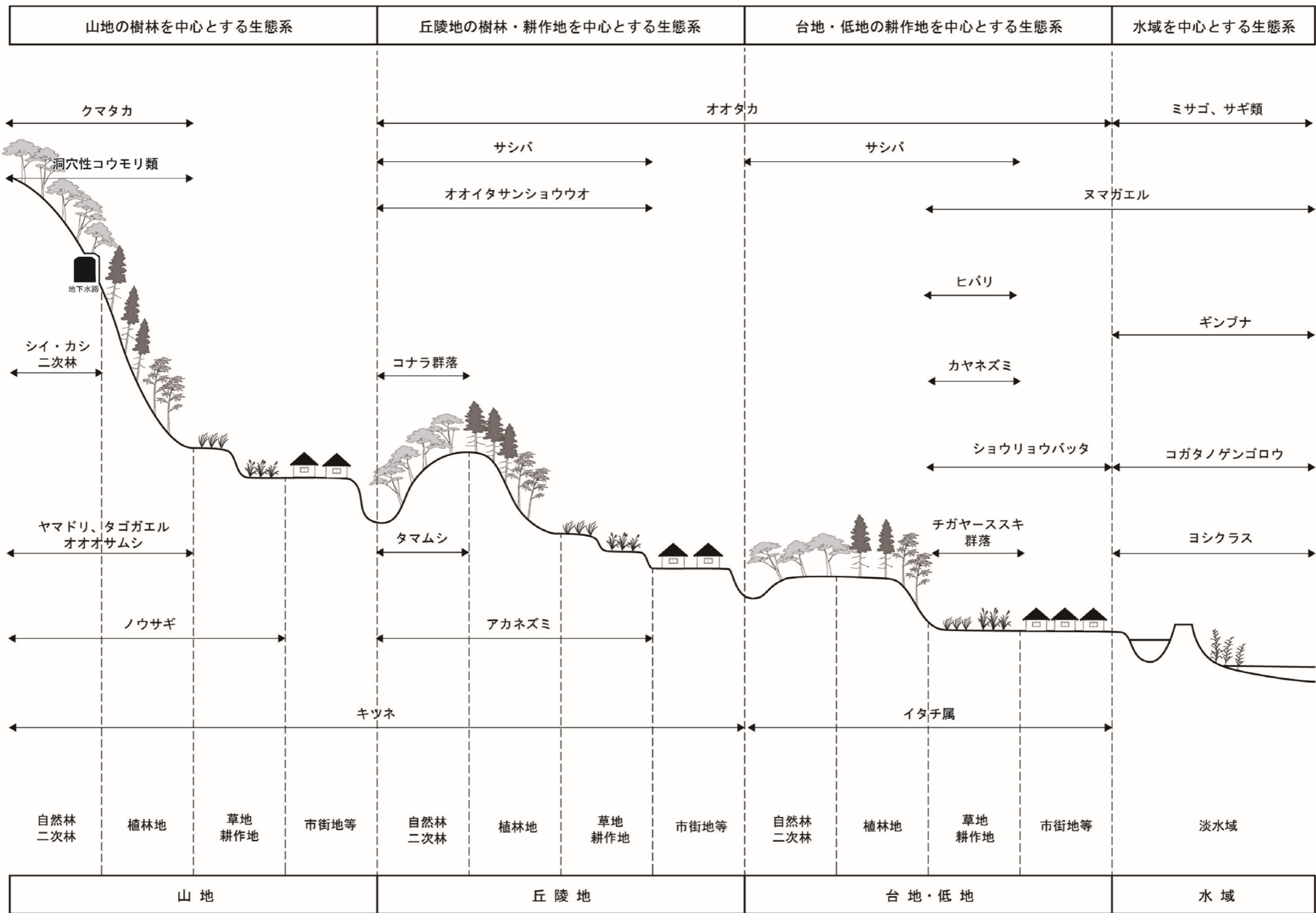


図 4.1.5-17 注目種・群落の分布模式図